款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費

事業名	社会福祉団体活動支援事業
施策の体系	みんなで助け合える福祉のまち
	社会福祉団体活動への支援

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額	
63,188 千円	73,505 千円	86.0 %	1,035 円	一般財源 1,035 円

財源	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	63,188千円

1 事業内容

(1) 社会福祉法人みよし市社会福祉協議会をはじめとする各種福祉団体の育成と福祉基盤の充実を図るため、補助金の交付等支援を行いました。

(2) 主な執行経費

区分	内容	事業費
補助金	社会福祉法人みよし市社会福祉協議会補助金	49,302,535円
	福祉団体等補助金 ≪内訳≫ ・豊田保護区保護司会みよし支部 200,000円 ・みよし市更生保護女性会 80,000円 ・みよし市遺族会 187,812円 ・みよし市身体障害者福祉協議会 137,742円 ・みよし市地域精神障がい者家族会 30,000円	635,554円
	みよし市手をつなぐ親の会補助金	218,000円
	みよし市ボランティア連絡協議会補助金	962,100円
	みよし市助け合いチケット事業補助金	300,000円
	障がい福祉サービス事業所運営費補助金 ≪内訳≫ ・自立支援給付事業所 5,084,000円 しおみの丘、さくらの丘、わらび福祉園、サンタ工場、ルアナ ・障がい児通所給付事業所 4,164,000円 おーけーさぽーと、おーけーさぽーと2、オハナ、オルオル、てぃーせる、えがお ・地域生活支援事業所 2,334,000円 きぼう、アライブ、はたらくクリエイション	11,582,000円

2 事業の成果

補助金を交付することにより、各団体による様々な福祉事業等が展開され、多くの市民がきめ細やかな福祉サービスを受けることができました。

作成課【福祉部 福祉課】	事務事業番号	550101

款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費

事業名	民生児童委員活動事業
施策の体系	みんなで助け合える福祉のまち
	民生・児童委員の充実

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額	
6,253 千円	6,390 千円	97.9 %	102 円	一般財源 102 円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	6,253千円

1 事業内容

(1) 民生委員法に規定する「社会奉仕の精神をもって、常に住民の立場に立って相談に応じ、及び必要な援助を行い、もって社会福祉の増進に努め、常に人格識見の向上と、職務を行う上に必要な知識及び技術の修得に努める」民生児童委員の活動を支援しました。

≪行政区別民生児童委員数≫ (平成30年3月31日現在)

行政区	人数	行政区	人数	行政区	人数	行政区	人数	行政区	人数
新屋	5人	三好上	6人	三好下	5人	西一色	1人	福田	2人
明知上	2人	明知下	2人	打越	4人	茹生	5人	福谷	3人
黒笹	3人	東山	3人	高嶺	1人	好住	1人	中島	2人
ひばりヶ丘	1人	あみだ堂	1人	山伏	1人	平池	1人	上ヶ池	1人
三好丘	5人	三好丘緑	3人	三好丘旭	3人	三好丘桜	3人	三好丘あおば	2人
主任児童委員	4人							合計	70人

≪民生児童委員の主な活動≫ (活動延べ件数)

活動内容	件数	活動内容	件数
市民からの相談	322件	調査・実態把握	86件
行事・事業・会議への参加協力	1,889件	地域福祉活動・自主活動	1,203件
各種証明事務	86件	訪問・連絡活動	592件
委員相互・関係機関との連絡調整	767件		

(2) 主な執行経費

区分	内容	事業費
報償費	民生児童委員謝礼	5,880,000円
補助金	民生児童委員協議会活動費補助金	335,757円

2 事業の成果

民生児童委員の活動を支援することにより、民生児童委員の地域での活動が円滑に行われ、地域内要援護者等に対して必要な援助を行うことができました。

作成課【福祉部 福祉課】	事務事業番号	550201

款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費

事業名	総合福祉フェスタ開催事業
施策の体系	みんなで助け合える福祉のまち
	総合福祉フェスタによる啓発

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額	
2,800 千円	2,800 千円	100.0 %	46 円	一般財源 46 円

財源	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	2,800千円

1 事業内容

(1)「保健・医療・福祉・生きがい」を主題として、総合福祉の充実と市民意識の高揚を図るとともに、高齢者や障がい者が積極的に社会参加し、安心して生活できるよう一層の啓発を目指すことを目的として総合福祉フェスタを開催しました。

≪開催内容≫

日時:平成29年9月16日(土) 午前9時45分から午後4時30分まで

場所:文化センターサンアート

事業名			事業内容
第1部	福祉大会		顕彰、福祉宣言
第2部	総合福祉フェスタ	保健フェスタ	健康情報コーナー、献血、骨髄バンクドナー登録 ほか
		医療フェスタ	健康測定、市民病院紹介、医療相談 ほか
		福祉フェスタ	各種体験、展示、模擬店、市内福祉施設紹介 ほか
		生きがいフェスタ	人権啓発映写会、シルバー即売
		赤十字フェスタ	赤十字PR、災害用非常食試食コーナー
第3部	ふれあいコンサート		市民参加によるコンサート

≪開催結果≫

区分		参加者数
第1部	社会福祉大会	250人
第2部	総合福祉フェスタ	3,070人
第3部	ふれあいコンサート	380人
合計		3,700人

(2) 主な執行経費

区分	内容	事業費
補助金	総合福祉フェスタ実行委員会補助金	2,800,000円

2 事業の成果

総合福祉フェスタの開催によって、来場者に対して保健・福祉・医療・生きがいの各施策を理解していただくことができました。また、障がいのある人と障がいのない人が互いに理解を深め合うことができました。

作成課【福祉部 福祉課】	事務事業番号	550301

款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費

事業名	障がい者福祉計画策定事業
施策の体系	みんなで助け合える福祉のまち
	障がい者の自立生活を支える環境整備

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額	
2,261 千円	2,331 千円	97.0 %	37 円	一般財源 37 円

財源	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	2,261千円

1 事業内容

(1) 障がい者基本法に基づき、平成23年度に計画期間6年(平成24年度～平成29年度)の第3期みよし市障がい者計画を策定し、また、障がい者総合支援法に基づき、平成26年度に計画期間3年(平成27年度～平成29年度)の第4期みよし市障がい福祉計画を策定しています。

これらの計画の期間満了に伴い、平成29年度は計画の見直しを行うため、計画策定業務を委託し、審議会を3回開催しました。

(2) 主な執行経費

区分	内容	事業費
報酬	障がい者福祉計画審議会委員報酬	231,000円
委託料	障がい者福祉計画策定業務委託	2,030,400円

2 事業の成果

第3期障がい者計画及び第4期障がい福祉計画の進捗状況を審議会で審議し、計画期間6年(平成30年度～平成35年度)の第4期みよし市障がい者計画、計画期間3年(平成30年度～平成32年度)の第5期障がい福祉計画及び計画期間3年(平成30年度～平成32年度)の第1期障がい児福祉計画を策定しました。

作成課【福祉部 福祉課】	事務事業番号	550701

款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費

事 業 名	生活困窮者自立支援事業
施策の体系	生涯健康で安心して暮らし続けられるまち
	経済的困窮者への支援

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額	
13,680 千円	15,638 千円	87.5 %	224 円	一般財源 58 円

財源	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	10,163千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	3,517千円

1 事業内容

(1) 生活保護に至る前の段階の自立支援策を強化し、生活困窮者に対する生活困窮状態からの脱却を図るための総合的な支援を行いました。

ア 生活困窮者自立相談支援事業を委託し、生活困窮者の自立に関する相談受付を行い、アセスメント及び本人の状況に応じた支援プランを策定しました。

イ 生活困窮者自立支援に関する研修や会議に担当職員が出席しました。

≪生活困窮者自立支援制度による支援状況≫

区 分	成 果
新規相談者数	67人
プラン作成件数	14件
就労者数	11人

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
旅費	生活困窮者自立支援研修等旅費	5,140円
委託料	自立相談支援事業委託	8,382,636円
	就労準備支援事業委託	3,974,400円
賃借料	くらし・はたらく相談センター事務用複写機賃借料	144,936円
償還金	平成28年度生活困窮者自立相談支援事業費等国庫負担金返還金	701,045円
	平成28年度生活困窮者就労準備支援事業費等補助金返還金	32,000円

2 事業の成果

生活困窮者のための総合的相談窓口をくらし・はたらく相談センターに設置し、相談事業を委託することで専門的知識を有する相談員が相談者それぞれの状況に応じて、就労支援、家計相談支援等を行うことができました。

また、研修や会議に出席し、担当職員の相談支援業務に関する知識・技量を向上させることができました。

今後の課題として、未実施の任意事業について地域のニーズを把握し、さまざまな支援メニューを導入していくことが必要となります。

作成課【福祉部 福祉課】	事務事業番号	561204

款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費

事 業 名	総合福祉システム整備事業
施策の体系	その他(体系外)
	その他

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額	
14,598 千円	19,453 千円	75.0 %	239 円	一般財源 239 円

財源	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	14,598千円

1 事業内容

(1) 市民への福祉サービス向上を図るとともに、各種福祉サービスの受給者数増加による事務量の増大等に対応するため、総合福祉システムの運用、管理を行いました。また、制度の改正に対応するため、総合福祉システムの改修を行いました。

さらに、総合福祉システムの機器賃借期間満了に伴い、システムを更新し、新たに機器賃貸借契約及び保守業務委託契約を締結しました。(契約期間:平成30年3月1日から平成35年2月28日までの60か月)

≪主な運用業務≫

区 分	内 容
ソフトウエア	障がい福祉システム
	高齢者福祉システム
	福祉医療システム
	児童手当システム
	保育システム
	地域生活支援事業システム
	障がい者自立支援システム
	生活保護システム
ハードウエア	サーバ、パソコン、プリンタ等

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
委託料	総合福祉システム保守業務委託	5,050,410円
	総合福祉システム(障がい者総合支援法等の改正対応)業務委託	3,456,000円
使用料	総合福祉システム機器等賃借料	5,847,633円
	自立支援システム機器等賃借料	177,012円

2 事業の成果

総合福祉システム及び自立支援システムを運用することにより、市民への迅速な福祉サービスを提供するとともに、福祉サービス等事務の省力化を図ることができました。

また、総合福祉システムを改修することにより、法改正に適切に対応することができました。

作成課【福祉部 福祉課】	事務事業番号	741301

款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費

事 業 名	戦没者追悼式開催事業
施策の体系	その他(体系外)
	その他

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額	
1,107 千円	1,138 千円	97.3 %	18 円	一般財源 18 円

財源	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	38千円	0千円	0千円	0千円	0千円	1,069千円

1 事業内容

(1) 戦争により尊い犠牲となられた英霊に対し、追悼の誠を捧げ、今日の平和を恒久のものとして、後世そして若い世代に継承していくため、「平和の式典」として戦没者追悼式を開催しました。

≪開催内容≫

日時：平成29年4月12日(水)　午後1時30分から午後2時40分まで

場所：文化センター　サンアート　小ホール

内容：国歌斉唱

黙とう

式辞

追悼のことば

献花

謝辞

参列者：273人

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
消耗品費	式典開催消耗品等(檀上献花・参列者記念品等)	901,966円
使用料	会場(文化センターサンアート)使用料	84,320円

2 事業の成果

今日の平和を恒久のものとして後世に継承していくための「平和の式典」として、市民意識の再確認を図ることができました。

作成課【福祉部　福祉課】	事務事業番号	741302

款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 障がい者福祉費

事 業 名	臨時福祉給付金給付事業(繰越明許費)
施策の体系	その他(体系外)
	その他

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額	
13,350 千円	18,487 千円	72.2 %	219 円	一般財源 － 円

財源	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	13,350千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円

1 事業内容

(1) 平成26年4月の消費税率の引上げによる影響を緩和するため、低所得者に対して、制度的な対応を行うまでの間の、暫定的、臨時的な措置として、臨時福祉給付金(経済対策分)を支給しました。

≪申請受付期間及び給付額≫

平成28年3月1日(平成29年度の受付は平成29年4月1日から平成29年5月31日まで)

一人　15,000円

≪支給実績≫

給付金名	支給人数	支給金額
臨時福祉給付金(経済対策分)	665人	9,975,000円

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
委託料	臨時福祉給付金給付事業業務委託	3,348,000円
給付金	臨時福祉給付金	9,975,000円

2 事業の成果

平成29年度は、665人の支給対象者に給付金を支給することができました。

作成課【福祉部 福祉課】	事務事業番号	741306

款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	02 障がい者福祉費

事業名	心身障がい者扶助費等給付事業
施策の体系	みんなで助け合える福祉のまち
	障がい者の自立生活を支える環境整備

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額	
96,005 千円	100,439 千円	95.6 %	1,572 円	一般財源 1,348 円

財源	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	11,406千円	2,278千円	0千円	0千円	0千円	0千円	82,321千円

1 事業内容

(1) 在宅の障がい者(児)に対して健康の保持及び増進を図るため、扶助費を支給するとともに各種の助成を行いました。

≪在宅心身障がい者扶助費支給状況≫

障がいの程度	受給者数	月額
身体1・2級	427人	4,500円
知的A判定	119人	
精神1級	26人	
身体3級	186人	4,000円
知的B判定	77人	
精神2級	166人	
身体4～6級	285人	2,500円
知的C判定	76人	
精神3級	69人	
合計	1,431人	

(2) 主な執行経費

区分	内容	事業費
扶助費	在宅心身障がい者扶助費	63,419,500円
	障がい者タクシー基本料金助成	1,706,370円
	障がい者手帳交付診断料助成	987,758円
	心身障がい者扶養共済制度掛金助成	1,029,275円
	特別障がい者手当等	17,442,900円
	難病患者等見舞金	7,820,000円
	難病患者等交通費	2,934,000円
	障がい者施設入所家族援護費	168,480円
	障がい者等住宅改修費	273,000円

2 事業の成果

在宅の身体、知的又は精神障がい者に対し、扶助費の支給及び各種助成を行うことによって、健康の保持及び増進を図ることができました。

作成課【福祉部 福祉課】	事務事業番号	550703

款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	02 障がい者福祉費

事業名	障がい者自立支援事業
施策の体系	みんなで助け合える福祉のまち
	障がい者の自立生活を支える環境整備

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額	
652,780 千円	666,504 千円	97.9 %	10,689 円	一般財源 5,266 円

財源	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	220,733千円	110,418千円	0千円	0千円	0千円	10千円	321,619千円

1 事業内容

(1) 障がい者の社会参加及び市民の障がい者理解のため、障がい福祉事業の充実、障がい福祉サービスの基盤整備が求められています。支援を必要とする人に必要な支援を提供できるよう、障がい者相談支援事業を軸に直接市民から声を聞き、きめ細やかな対応をしました。

また、障がい支援区分認定審査会で、障がい福祉サービス利用者の支援の度合いを審議し、適正な給付を行いました。

さらに、サービス利用者や保護者への相談支援、必要な情報提供や助言を行い、障がい福祉サービスにつなげました。

・障がい支援区分認定者数　176人
・自立支援給付及び地域生活支援事業決定者数　420人
・相談支援の相談件数　3,056件

(2) 主な執行経費

区分	内容	事業費
報酬	障がい支援区分認定審査会委員報酬	1,182,000円
委託料	手話通訳者派遣事業委託	327,875円
	障がい者相談支援事業委託	29,633,672円
	障がい者就労支援事業委託	3,239,848円
	療育体操業務委託	648,000円
負担金	特別養護老人ホーム障がい者短期入所負担金 [交付先]社会福祉法人おかざき福祉会	6,759,753円
	精神障がい者地域活動支援センター事業負担金 [交付先]豊田市・東郷町	893,924円
扶助費	介護・訓練等給付費	505,334,808円
	補装具給付費	8,787,444円
	更生・育成医療給付費	20,040,799円
	地域生活支援事業費	58,205,493円

2 事業の成果

相談件数や支給決定者数が増加し、障がい者の社会参加の促進、家族の介護負担の軽減が図られました。

作成課【福祉部　福祉課】	事務事業番号	550705

款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	02 障がい者福祉費

事業名	手話奉仕員養成・通訳者設置事業
施策の体系	みんなで助け合える福祉のまち
	障がい者の自立生活を支える環境整備

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額	
1,490 千円	1,531 千円	97.3 %	24 円	一般財源 24 円

財源	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	1,490千円

1 事業内容

(1) 手話奉仕員養成講座は、日常生活上の初歩的なコミュニケーション支援ができる程度の手話について入門講座と基礎講座を通して学び、聴覚障がいに関する理解を深める目的のため開催しました。

また、市役所に手話通訳者を設置し、聴覚障がい者が各種手続等を行うための支援を行いました。

≪手話奉仕員養成講座≫

・講座回数　43回
・講座参加申込者数　5人
・修了証交付者(8割以上出席)　5人

≪手話通訳者設置≫

・設置人数　1人
・設置日　毎週月曜日と木曜日の午前9時から午後3時まで

(2) 主な執行経費

区分	内容	事業費
報酬	手話通訳者報酬	637,000円
委託料	手話奉仕員養成講座開催事業委託	800,000円

2 事業の成果

講座開催により、参加者のうち全講座の8割以上に出席された方に修了証を交付し、手話への知識を向上させ、聴覚障がい者の自立と社会参加の促進に役立てることができました。

また、市役所に手話通訳者を設置することにより、聴覚障がい者が各種手続等を行う際、円滑に進めることができました。

作成課【福祉部 福祉課】	事務事業番号	550707

款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	04 社会福祉施設費

事業名	障がい者福祉センター事業
施策の体系	みんなで助け合える福祉のまち
	障がい者の自立生活を支える環境整備

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額	
12,058 千円	12,300 千円	98.0 %	197 円	一般財源 197 円

財源	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	12,058千円

1 事業内容

(1) 障がい者福祉センターの管理、運営業務を民間業者に指定管理委託し、経費の節減を図りました。指定管理業者は、障がい者(児)が快適かつ安全に利用できるよう、建物の修繕や設備の点検、清掃、衛生的環境の確保、火災、盗難などの事故・事件の予防等施設の維持及び管理を行いました。

また、障がい者相談支援事業を実施し、本市に住む障がい者(児)やその家族からの相談に対応するとともに、障がい者福祉センター内において、社会適応訓練や創作的活動等を実施し、在宅障がい者の自立支援と社会参加を促進しました。

≪施設管理の状況≫

開所日数	262日
実利用者数	35人
延べ利用回数	2,122回

≪相談支援の実績≫

障がい別	件数
身体	104件
重心	16件
知的	83件
精神	43件
発達	11件
高次脳	5件
その他	1件
合計	263件

支援方法	件数
訪問	141件
来所	30件
同行	29件
電話	48件
メール	0件
個別会議	8件
関係機関	4件
その他	3件
合計	263件

支援内容	件数
サービス利用	105件
障がい理解	0件
健康支援	21件
不安解消	52件
保育・教育	5件
家計・経済	1件
生活・技術	13件
就労	5件
社会参加	7件
その他	54件
合計	263件

(2) 主な執行経費

区分	内容	事業費
修繕費	活動室照明等修繕	129,600円
委託料	障がい者福祉センター指定管理業務委託	11,928,786円

2 事業の成果

障がい者福祉センター指定管理者は、利用者が施設を快適かつ安全に利用できるよう、適切な維持管理を行いました。

障がい者対象の事業としては、障がい者のデイサービス、障がい児の一時預かり、障がい者(児)の相談支援に積極的に取り組んでおり、在宅障がい者の自立支援と社会参加が着実に増進しました。

作成課【福祉部 福祉課】	事務事業番号	550708

款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	04 社会福祉施設費

事 業 名	障がい者施設整備事業
施策の体系	みんなで助け合える福祉のまち
	障がい者の自立生活を支える環境整備

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額	
2,810 千円	2,810 千円	100.0 %	46 円	一般財源 46 円

財源	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	2,810千円

1 事業内容

(1) 知的障がい者福祉施設「さくらの丘」施設整備に伴う、医療事業団と県社会福祉協議会貸付金の償還金のうち、県補助分を除いた額を市から補助しました。

≪「さくらの丘」施設利用者の状況≫ (平成30年4月1日現在)

施設名	事業名	利用人数	うちみよし市民
さくらの丘	生活介護	25人	20人

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
補助金	さくらの丘借入金償還事業補助金 [交付先]社会福祉法人あゆみ会	2,810,000円

2 事業の成果

法人の借入金償還に対し補助金を交付することにより、施設の適正な維持管理をすることができました。

作成課【福祉部 福祉課】	事務事業番号	550709

款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	05 医療支給費

事業名	母子家庭等医療費支給事業
施策の体系	生涯健康で安心して暮らし続けられるまち
	医療費助成の充実

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額	
36,366 千円	39,718 千円	91.6 %	595 円	一般財源 302 円

財源	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	16,132千円	0千円	0千円	0千円	1,799千円	18,435千円

1 事業内容

(1) 母子・父子家庭や父母のいない児童等の保健の向上と福祉の増進を図り、適切な医療を確保するため、医療機関で診療を受けた場合の自己負担分を助成しました。

≪母子家庭等医療制度の状況≫

	年間平均受給者数	支給件数	支給額	1件当たり支給額	所管
母子家庭等医療	832人	11,556件	35,929,438円	3,109円	県

(2) 主な執行経費

区分	内容	事業費
手数料	審査支払手数料	365,627円
扶助費	医療支給費	35,929,438円

2 事業の成果

母子家庭等の福祉向上を図るため、医療費の自己負担分を公費負担することにより、医療費に関する不安を取り除き、安心して医療を受けてもらうとともに生活基盤の安定化に役立てることができました。

作成課【福祉部 保険年金課】	事務事業番号	560601

款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	05 医療支給費

事 業 名	子ども医療費支給事業
施策の体系	生涯健康で安心して暮らし続けられるまち
	医療費助成の充実

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額	
370,232 千円	383,603 千円	96.5 %	6,062 円	一般財源 4,353 円

財源	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	81,411千円	0千円	0千円	0千円	22,967千円	265,854千円

1 事業内容

(1) 15歳到達年度末までの子どもの福祉の増進と経済的負担の軽減を図るため、医療機関で診療を受けた場合の自己負担分を助成しました。

区 分	対 象
入院	出生から中学校卒業まで(愛知県制度)
通院	出生から小学校就学前まで(愛知県制度)
	小学1年から中学校卒業まで(市制度)

≪子ども医療制度の状況≫

	年間平均受給者数	支給件数	支給額	1件当たり支給額	所管
未就学児(入院・通院)	4,026人	79,737件	150,115,888円	2,162円	県
小中学生(入院)	5,925人	209件	22,756,628円		
小中学生(通院)		84,689件	191,971,687円	2,266円	市
合 計	9,951人	164,635件	364,844,203円	2,216円	

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
手数料	審査支払手数料	5,257,086円
扶助費	医療支給費	364,844,203円

2 事業の成果

子どもの福祉向上を図るため、医療費の自己負担分を公費負担することにより、医療費に関する不安を取り除き、安心して医療を受けてもらうとともに生活基盤の安定化に役立てることができました。

作成課【福祉部 保険年金課】	事務事業番号	560602

款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	05 医療支給費

事業名	障がい者医療費支給事業
施策の体系	生涯健康で安心して暮らし続けられるまち
	医療費助成の充実

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額	
152,265 千円	154,320 千円	98.7 %	2,493 円	一般財源 1,276 円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0千円	47,229千円	0千円	0千円	0千円	27,098千円	77,938千円

1 事業内容

(1) 障がい者の福祉の増進と経済的負担の軽減を図るため、医療機関で診療を受けた場合の自己負担分を助成しました。

≪障がい者・精神障がい者医療制度の状況≫

	年間平均受給者数	支給件数	支給額	1件当たり支給額	所管
障がい者医療	635人	15,427件	100,659,268円	6,524円	県
精神障がい者医療(全疾病)	56人	717件	10,878,225円	15,171円	市
精神障がい者医療	58人	3,888件	19,345,438円	4,975円	県
精神障がい者医療	525人	10,192件	20,286,270円	1,990円	市
合　計	1,274人	30,224件	151,169,201円	5,001円	

(2) 主な執行経費

区分	内容	事業費
手数料	審査支払手数料	964,300円
扶助費	医療支給費	151,169,201円

2 事業の成果

障がい者の福祉向上を図るため、医療費の自己負担分を公費負担することにより、医療費に関する不安を取り除き、安心して医療を受けてもらうとともに生活基盤の安定化に役立てることができました。

作成課【福祉部 保険年金課】	事務事業番号	560603

款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	05 医療支給費

事 業 名	後期高齢者福祉医療費給付金支給事業
施策の体系	生涯健康で安心して暮らし続けられるまち
	医療費助成の充実

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額	
89,375 千円	95,327 千円	93.8 %	1,463 円	一般財源 711 円

財源	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	34,211千円	0千円	0千円	0千円	11,736千円	43,428千円

1 事業内容

(1) 後期高齢者医療制度に加入している人で、身体又は精神に障がいを有する人等の福祉の増進と経済的負担の軽減を図るため、医療機関で診療を受けた場合の自己負担分を助成しました。

≪後期高齢者福祉医療制度の状況≫

	年間平均受給者数	支給件数	支給額	1件当たり支給額	所管
後期高齢者福祉医療	643人	19,534件	79,018,552円	4,045円	県
	104人	3,803件	9,618,984円	2,529円	市
合 計	747人	23,337件	88,637,536円	3,798円	

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
手数料	審査支払手数料	736,998円
扶助費	医療支給費	88,637,536円

2 事業の効果

後期高齢者医療制度に加入している人で、一定の障がいを有する人等の福祉向上を図るため、医療費の自己負担分を公費負担することにより、医療費に関する不安を取り除き、安心して医療を受けてもらうとともに生活基盤の安定化に役立てることができました。

作成課【福祉部 保険年金課】	事務事業番号	560604

款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	06 老人福祉費

事業名	老人クラブ活動補助事業
施策の体系	みんなで助け合える福祉のまち
	生きがいづくりと社会参加の支援

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額	
6,825 千円	7,078 千円	96.4 %	112 円	一般財源 99 円

財源	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	792千円	0千円	0千円	0千円	0千円	6,033千円

1 事業内容

(1) いきいきクラブみよし連合会に対し、社会奉仕活動、社会参加活動、健康増進活動、教養学習活動、スポーツ振興事業等の事業費に補助金を交付しました。

なお、平成29年度の会員数は、3,390人でした。

≪主な事業実績≫

期日	内容
4月11日(火)	平成29年度みよし市老人クラブ連合会総会
6月2日(金)	第22回みよし市長旗争奪グラウンド・ゴルフ大会
6月20日(火)～22日(木)	いきいきクラブみよし連合会会員研修会
8月19日(土)	三好いいじゃんまつり参加
9月20日(水)	全国一斉「社会奉仕の日」参加
9月22日(金)	いきいき健康フェスタ
11月5日(日)	いきいきクラブ作品展示即売会(産業フェスタみよし2017)
11月9日(木)	第37回いきいきクラブ芸能発表会
11月28日(火)	第36回いきいきクラブみよし連合会MRCゴルフ大会
2月8日(木)	特別講演会

(2) 主な執行経費

区分	内容	事業費
補助金	みよし市いきいきクラブ活動等補助金 [交付先]いきいきクラブみよし連合会	6,825,000円

2 事業の成果

市内いきいきクラブ活動の支援をすることで、高齢者の生きがいづくり、健康づくりを推進することができ、高齢者の生活意欲の向上、介護予防に貢献することができました。

今後は、奉仕活動などの地域社会を豊かにする活動、スポーツサークル活動などの健康づくり、介護予防のための活動への支援をしていきます。

作成課【福祉部 長寿介護課】	事務事業番号	550401

款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	06 老人福祉費

事 業 名	家族介護用品支給事業
施策の体系	みんなで助け合える福祉のまち
	高齢者に安全・安心な地域社会の推進

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額	
3,695 千円	3,751 千円	98.5 %	61 円	一般財源 61 円

財源	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	3,695千円

1 事業内容

(1) 在宅のねたきり高齢者などを介護している家族の方の身体的、経済的負担の軽減を図ることを目的に、介護に必要な用品(紙おむつ、尿とりパッド等)を自宅に配布し、支給しました。

自宅への配布は、当市介護相談員でもある「特定非営利活動法人あいちNPO市民ネットワークセンター」に委託し、家族介護用品を配布する際に介護者との交流を図りました。

≪対象者≫

ア 要介護3から5までに認定された人

イ 在宅で介護を受けている人

≪支給実績≫

延べ件数	1件当たりの支給額
1,278件	2,276円

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
消耗品費	家族介護用品購入費	2,908,944円
委託料	家族介護用品配布業務委託	785,954円

2 事業の成果

対象者宅に介護用品をお届けすることにより、対象者の日常生活の便宜を図るとともに、対象者を介護する家族の負担(介護用品を購入、物品の運搬等)を軽減することができました。

また、介護用品を直接お渡しする際、介護上の悩みや相談等をお聞きすることで、対象者を介護する家族の精神的負担を軽減することができました。

作成課【福祉部 長寿介護課】	事務事業番号	550502

款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	06 老人福祉費

事 業 名	ねたきり老人等手当支給事業
施策の体系	みんなで助け合える福祉のまち
	高齢者に安全・安心な地域社会の推進

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額	
3,474 千円	3,708 千円	93.7 %	57 円	一般財源 57 円

財源	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	3,474千円

1 事業内容

(1) 要介護3から5までに認定された人、又はその常時介護者の生活の向上及び福祉の増進を図ることを目的として手当を支給しました。

4月から9月までと、10月から3月までの現況届を提出いただくことで対象者の状況を把握し、その後の4月と10月に半年分の手当をまとめて支給しました。

≪対象者≫ 次のいずれにも該当する人

ア 市内に引き続き1年以上居住している人(1年以上市内に住民登録されている人)

イ 要介護3から5までに認定された人

ウ 在宅で介護を受けている人、又はその常時介護者

※対象となる高齢者が特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム等に入所された場合は、除きます。

≪手当額≫ 月額2,000円

≪支給月≫ 4月、10月

≪支給実績≫ 延べ支給人数 216人

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
扶助費	ねたきり老人手当	3,474,000円

2 事業の成果

在宅で介護をしている常時介護者や家族の経済的な負担を軽減することができました。また、半年に1度現況届を提出いただくことで、対象となる高齢者の状況を把握できました。

作成課【福祉部 長寿介護課】	事務事業番号	550503

款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	06 老人福祉費

事 業 名	高齢者日常生活用具・住宅改修費支給事業
施策の体系	みんなで助け合える福祉のまち
	高齢者に安全・安心な地域社会の推進

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額	
1,738 千円	3,170 千円	54.8 %	28 円	一般財源 24 円

財源	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	242千円	1,496千円

1 事業内容

(1) 日常生活用具給付事業では、援護を必要とする高齢者及びひとり暮らし高齢者に対し、日常生活用具(シルバーカー等)を給付しました。

住宅改修費支給事業では、要介護、要支援の在宅高齢者が自立した生活を営むことができるように、段差解消等の住環境を改善する住宅改修費を支給しました。

≪給付実績≫

事業名	給付件数	給付人数
日常生活用具給付事業	18件	18人
住宅改修費支給事業	21件	21人

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
扶助費	日常生活用具給付	201,172円
	住宅改修費支給	1,537,000円

2 事業の成果

日常生活用具の助成については、援護を必要とする高齢者に対し、日常生活用具を給付することにより、日常生活の便宜を図ることができました。

住宅改修については、要介護・要支援の在宅高齢者が自立した生活を営むことができました。

作成課【福祉部 長寿介護課】	事務事業番号	550505

款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	06 老人福祉費

事 業 名	高齢者世話付住宅生活援助員派遣等事業
施策の体系	みんなで助け合える福祉のまち
	高齢者に安全・安心な地域社会の推進

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額	
5,119 千円	5,223 千円	98.0 %	84 円	一般財源 84 円

財源	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	5,119千円

1 事業内容

(1) 高齢者世話付住宅(シルバーハウジング)に入居するひとり暮らし高齢者、又は高齢者のみの世帯を対象に、急病や事故等の緊急事態が発生した際、緊急ボタンを押すだけで尾三消防本部に直接つながる緊急通報用機器を貸し出し、設置することで、緊急時の支援を行いました。

また、入居時から生活援助員が電話及び訪問等を行うことで、居住者が自立して安全かつ快適な生活を営むことができるよう支援しました。

≪シルバーハウジング設置状況≫

住宅名	設置数
県営中島住宅	20戸
県営福谷住宅	22戸
市営福谷住宅	8戸
合 計	50戸

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
委託料	高齢者世話付住宅生活援助業務委託	4,904,386円

2 事業の成果

生活援助員が毎日電話、又は訪問することにより、居住者に声掛けや家事支援等を行うことで、毎日の安否確認を行えただけでなく、居住者が自立して安全かつ快適な生活を送ることができました。

また、緊急通報システムでは、居住者に緊急事態が発生した際に、各部屋のスイッチや緊急通報用機器本体の緊急ボタンを押すことにより自動的に尾三消防本部に通報されることから、救急搬送等、迅速に必要な措置がとられるため、居住者の緊急時に対する不安を軽減することができました。

さらに、緊急通報用機器を年に一度保守点検を行うことと、老朽化した機器を取り替えていくことで、機器の適正な管理ができただけでなく、高齢者の機器利用に対する不安感(機器をうまく使いこなせないなどの不安等)も軽減することができました。

作成課【福祉部 長寿介護課】	事務事業番号	550508

款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	06 老人福祉費

事 業 名	敬老金支給事業
施策の体系	みんなで助け合える福祉のまち
	高齢者に安全・安心な地域社会の推進

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額	
3,985 千円	3,997 千円	99.7 %	65 円	一般財源 65 円

財源	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	3,985千円

1 事業内容

(1) 長年にわたり社会の発展に貢献した高齢者に対し敬老金を贈り、感謝の意を表し、その長寿をお祝いしました。

≪対象内訳≫

対象年齢		敬老金額
満80歳	昭和12年1月1日から12月31日生まれ	5,000円
満85歳	昭和7年1月1日から12月31日生まれ	
満90歳	昭和2年1月1日から12月31日生まれ	10,000円
満95歳	大正11年1月1日から12月31日生まれ	
満100歳以上	大正6年12月31日以前生まれ	30,000円

≪支給実績≫

対象年齢	敬老金額	支給者数	支給額
満80歳	5,000円	331人	1,655,000円
満85歳		205人	1,025,000円
満90歳	10,000円	89人	890,000円
満95歳		18人	180,000円
満100歳以上	30,000円	7人	210,000円
合 計		650人	3,960,000円

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
報償費	敬老金	3,960,000円

2 事業の成果

対象となる高齢者に感謝を伝えることができました。

また、民生委員が担当地区の対象者に手渡しで敬老金を贈呈することにより、高齢者の安否確認をすることができました。

作成課【福祉部 長寿介護課】	事務事業番号	550513

款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	06 老人福祉費

事業名	長寿お祝い事業
施策の体系	みんなで助け合える福祉のまち
	高齢者に安全・安心な地域社会の推進

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額	
4,904 千円	5,177 千円	94.7 %	80 円	一般財源 80 円

財源	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	4,904千円

1 事業内容

(1) 長年にわたり社会の進展に貢献した高齢者の皆さんを観劇会に招待し、感謝の意を表し、その長寿をお祝いしました。

≪開催実績≫

期日	内容	参加人数
9月29日(金)	第1部 お笑いショー「暁トリオ」 第2部 歌謡ショー「角川博」「坂入姉妹」	959人

≪対象者≫

市内に住所がある満65歳以上の次の人

・古稀のお祝い事業対象者
・いきいきクラブ会員
・公募者(いきいきクラブ会員でない人)

(2) 主な執行経費

区分	内容	事業費
印刷製本費	長寿お祝い会公演チラシ作成	63,612円
委託料	長寿お祝い会公演事業委託	4,309,200円
使用料	サンアート施設使用料及び器具使用料	206,720円
賃借料	送迎バス借上料	87,800円

2 事業の成果

対象の高齢者に対し、感謝の意を伝え長寿をお祝いすることができました。

また、お笑いショーや歌謡ショーで楽しいひと時を過ごしていただくことができました。

作成課【福祉部 長寿介護課】	事務事業番号	550519

款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	06 老人福祉費

事 業 名	福祉センター運営管理事業
施策の体系	みんなで助け合える福祉のまち
	福祉施設整備の推進

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額	
13,658 千円	15,857 千円	86.1 %	224 円	一般財源 223 円

財源	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	29千円	13,629千円

1 事業内容

(1) 福祉センターの運営管理を、指定管理者である社会福祉法人みよし市社会福祉協議会が行いました。

また、施設の維持管理のため、工事を行いました。

≪指定管理期間≫

平成26年4月1日から平成31年3月31日まで

≪利用実績≫

年間利用人数 12,167人

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
委託料	福祉センター指定管理業務委託	7,423,197円
	福祉センター大ホール空調機取替工事設計委託	432,000円
工事請負費	福祉センター大ホール空調機取替工事	5,654,880円

2 事業の成果

福祉センターの運営管理業務を適正に行うことができました。

また、各種福祉団体に対し、活動拠点場所を提供することができました。

3階大ホール空調取替工事を行うことで、施設を快適かつ安全に利用できるようになりました。

施設の老朽化に伴い、施設、設備ともに緊急的な修繕が必要になることが課題です。

作成課【福祉部 長寿介護課】	事務事業番号	550601

款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	06 老人福祉費

事業名	シルバー人材センター補助事業
施策の体系	生きがいを持って楽しく暮らせるまち
	公益社団法人シルバー人材センターへの支援

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額	
47,666 千円	49,025 千円	97.2 %	781 円	一般財源 781 円

財源	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	47,666千円

1 事業内容

(1) 公益社団法人みよし市シルバー人材センターが行う組織の強化、会員の拡大、就業機会の開拓等、高齢者の生きがい事業に対し、補助金を交付しました。

≪作業内容≫

除草作業、清掃作業、樹木の剪定、大工作業、塗装作業、公園等の管理作業等

≪就業実績≫

年度登録会員数	事業件数	就業延べ人員
375人	1,958件	44,525人

≪事業場所の内訳≫

一般家庭	一般事業所	公共事業所	合計
596件	742件	620件	1,958件

(2) 主な執行経費

区分	内容	事業費
補助金	シルバー人材センター補助金 [交付先]公益社団法人みよし市シルバー人材センター	47,666,388円

2 事業の成果

「自主・自立」、「共働・共助」の理念に基づき、高齢者の豊かな経験と技術を生かして、安全で働きやすい就業機会の確保を提供することにより、就労を通じて健やかで生き生きとした生活を維持し、自らの生きがいの充実や活力ある地域づくりに貢献できるよう支援することができました。

作成課【福祉部 長寿介護課】	事務事業番号	570301

款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	06 老人福祉費

事業名	高齢者生きがいセンター運営管理事業
施策の体系	生きがいを持って楽しく暮らせるまち
	公益社団法人シルバー人材センターへの支援

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額	
11,145 千円	12,760 千円	87.3 %	182 円	一般財源 178 円

財源	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	293千円	10,852千円

1 事業内容

(1) 高齢者生きがいセンター「太陽の家」の運営管理を、指定管理者である公益社団法人みよし市シルバー人材センターが行いました。

≪指定管理期間≫

平成26年4月1日から平成31年3月31日まで

≪作業内容≫

施設名	内容
太陽の家	軽作業・温室作業
福谷太陽の家	軽作業
東山太陽の家	木工細工

≪太陽の家利用人数実績≫

施設名	利用人数
太陽の家	4,398人
福谷太陽の家	454人
東山太陽の家	288人
合 計	5,140人

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
委託料	高齢者生きがいセンター「太陽の家」指定管理業務委託	2,886,259円
賃借料	高齢者生きがいセンター「太陽の家」駐車場用地賃借料	2,042,469円
工事請負費	高齢者生きがいセンター「太陽の家」外壁・軒下塗装工事	5,821,200円

2 事業の成果

高齢者生きがいセンター「太陽の家」の運営管理業務を適正に行うことができました。

また、高齢者の豊かな経験や能力を生かし、就労を通じて健康で生き生きと活動できる場を提供することができました。

作成課【福祉部 長寿介護課】	事務事業番号	570302

款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	07 老人憩いの家運営管理

事 業 名	老人憩いの家運営管理事業
施策の体系	みんなで助け合える福祉のまち
	福祉施設整備の推進

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額	
46,580 千円	49,199 千円	94.7 %	763 円	一般財源 515 円

財源	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	15,158千円	31,422千円

1 事業内容

(1) 地区老人憩いの家の運営管理を、指定管理者である各地区老人クラブが行いました。

また、施設の維持管理のため修繕・工事を行いました。

≪指定管理期間≫

平成26年4月1日から平成31年3月31日まで

≪利用実績≫

施設名	利用人数	施設名	利用人数	施設名	利用人数
新屋	2,671人	福田	5,792人	茹生	6,235人
中部	4,734人	明知上	4,740人	福谷	5,339人
三好下	4,838人	明知下	6,042人	黒笹	4,625人
西一色	2,888人	打越	5,902人	東山	6,535人

合 計
60,341人

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
修繕費	緊急修繕(新屋、中部、三好下、福田、明知下、茹生、福谷)	651,456円
委託料	老人憩いの家指定管理業務委託(12館)	27,110,162円
	明知下老人憩いの家バリアフリー改修工事設計委託	1,458,000円
賃借料	中部老人憩いの家用地賃借料	1,495,268円
工事請負費	中部老人憩いの家フェンス設置工事	285,660円
	茹生老人憩いの家空調機取替工事	1,026,000円
	明知下老人憩いの家バリアフリー改修工事	13,700,880円
備品購入費	ルームエアコン4台(中部、西一色2台、黒笹)	746,280円

2 事業の成果

地区老人憩いの家の運営管理業務を適正に行うことができました。

明知下老人憩いの家において、バリアフリー改修工事を実施し、安全に施設を利用できる環境を整備することができました。

作成課【福祉部 長寿介護課】	事務事業番号	550603

款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	08 後期高齢者医療費

事 業 名	療養給付費負担金事務
施策の体系	生涯健康で安心して暮らし続けられるまち
	国民健康保険の適正な事業運営

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額	
315,224 千円	315,224 千円	100.0 %	5,162 円	一般財源 5,162 円

財源	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	315,224千円

1 事業内容

(1) 後期高齢者医療被保険者への医療療養給付費の一部を、愛知県後期高齢者医療広域連合へ負担金として支出しました。

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
負担金	後期高齢者医療療養給付費負担金	315,224,000円

2 事業の成果

後期高齢者医療制度のもとで、被保険者への医療給付等に必要な負担をすることにより、医療制度の安定化に役立てることができました。

作成課【福祉部 保険年金課】	事務事業番号	560804

款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	08 後期高齢者医療費

事業名	後期高齢者医療健康診査事業
施策の体系	生涯健康で安心して暮らし続けられるまち
	後期高齢者医療制度の推進

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額	
17,844 千円	18,154 千円	98.3 %	292 円	一般財源 56 円

財源	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	14,409千円	3,435千円

1 事業内容

(1) 愛知県後期高齢者医療広域連合からの委託を受け、後期高齢者医療被保険者を対象とした身体計測、血圧測定、血液検査等の健康診査を行いました。

≪健康診査実施結果≫

対象者数	4,623人
受診者数	1,611人
受診率	34.84%

(2) 主な執行経費

区分	内容	事業費
委託料	後期高齢者医療健康診査業務委託	16,994,824円

2 事業の成果

後期高齢者医療被保険者の疾病等の早期発見を図るとともに、普段、医療機関にかかっていない人が自身の健康について見直す機会を提供することができました。

対象者が75歳以上及び65歳から74歳で一定の障がいを有する後期高齢者医療制度に加入している人であり、普段から医療機関に受診している人も多いことなどから健康診査の受診率が向上しないのが現状です。

作成課【福祉部 保険年金課】	事務事業番号	560805

款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	01 児童福祉総務費

事業名	こども相談・虐待防止事業
施策の体系	安心して子どもを産み、育てられるまち
	子育て支援サービスの充実

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額	
2,459 千円	3,203 千円	76.8 %	40 円	一般財源 12 円

財源	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	856千円	741千円	0千円	0千円	132千円	0千円	730千円

1 事業内容

(1) 児童虐待の防止及び早期発見等、迅速かつ適切な支援を図るため、生後4か月の赤ちゃんがいる世帯を対象とした「こんにちは赤ちゃん訪問」の実施と、随時電話相談及び面談の対応をしました。

また、児童虐待、もしくは疑われる情報があった場合は速やかに対応し、当該世帯には虐待防止指導を実施するとともに、児童の養育が一時的に困難となった場合、児童を児童養護施設へ入所させ、養育・保護しました。

区分	家庭訪問対象世帯数	訪問世帯数
こんにちは赤ちゃん訪問事業	620世帯	599世帯

≪子ども相談受付延べ件数≫

養護相談		障がい	育成	その他	合計
虐待	その他				
93件	42件	26件	282件	137件	580件

≪施設利用状況≫

利用実人数	利用世帯	延べ利用日数
3人	2世帯	48日

(2) 主な執行経費

区分	内容	事業費
賃金	全戸訪問事業保育士賃金	1,904,205円
印刷製本費	子育て・虐待防止パンフレット	154,008円
扶助費	短期支援施設入所費用	264,000円

2 事業の成果

生後4か月までの赤ちゃん全戸訪問事業を実施し、虐待防止や子育ての悩みの軽減を図ることができました。

作成課【子育て健康部 子育て支援課】	事務事業番号	680303

款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	01 児童福祉総務費

事業名	ひとり親家庭相談・自立支援事業
施策の体系	安心して子どもを産み、育てられるまち
	子育て支援サービスの充実

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額	
5,202 千円	6,357 千円	81.8 %	85 円	一般財源 45 円

財源	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	1,653千円	826千円	0千円	0千円	0千円	0千円	2,723千円

1 事業内容

(1) 家庭相談員による児童福祉全般にわたる相談及び指導を行うとともに、母子自立支援員による母子家庭の自立に向けての相談・取組を行いました。

また、保護者が、配偶者のない女子又はこれに準ずる事情にある女子であって、その者の監護すべき児童の福祉に欠けるところがある場合では、母子生活支援施設での保護も含め、生活の再建に向けた指導等を実施しました。

さらに、就労するに当たり、生活状況の中での阻害要因を把握して、具体的な就労に向けての面談をし、プログラムを策定した者が、その後、一定条件の就労をした時には母子自立支援就労促進給付金を支給しました。

就労促進給付金	5件

(2) 主な執行経費

区分	内容	事業費
扶助費	就労促進給付金	100,000円
	母子生活支援施設措置費	3,352,048円
償還金	平成28年度母子家庭等対策総合支援事業費国庫補助金の交付額確定による返還金	1,577,780円

2 事業の成果

相談事例に応じた助言や関係機関の紹介、給付金の支給などを行うことにより、相談者の悩みや不安を軽減させることができました。

特に、母子家庭においては非正規労働の割合が高く、より高収入の就業につなげる支援をすることができました。

作成課【子育て健康部 子育て支援課】	事務事業番号	680305

款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	01 児童福祉総務費

事業名	放課後児童健全育成事業
施策の体系	安心して子どもを産み、育てられるまち
	子育て支援サービスの充実

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額	
180,157 千円	204,200 千円	88.2 %	2,950 円	一般財源 1,489 円

財源	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	48,077千円	17,005千円	0千円	0千円	0千円	24,164千円	90,911千円

1 事業内容

(1) 学校の空き教室などを利用した児童クラブに指導員を配置し、昼間就労などの理由で保護者がいない家庭の小学1年生から4年生まで(北部児童クラブ及び夏休み期間の第2児童クラブでは6年生まで)の児童を対象に、保護者が帰宅するまでの間、児童の健康管理及び安全管理を行うとともに、自主性、社会性及び創造性を向上させました。

また、民間児童クラブが公立の児童クラブと同額程度の利用料で利用することができるように、運営費補助金を交付しました。

≪実施状況≫

クラブ名	実施場所	児童数	定員	備考
中部児童クラブ	中部小学校	45人	40人	通年実施
北部児童クラブ第1教室	北部小学校	44人	40人	通年実施
北部児童クラブ第2教室	北部小学校	44人	40人	通年実施
南部児童クラブ	南部小学校	44人	40人	通年実施
天王児童クラブ	天王小学校	44人	40人	通年実施
三吉児童クラブ	三吉小学校	44人	40人	通年実施
三好丘児童クラブ	三好丘小学校	56人	80人	通年実施
緑丘児童クラブ	緑丘小学校	45人	40人	通年実施
黒笹児童クラブ	黒笹小学校	42人	40人	通年実施
中部第2児童クラブ	中部小学校	39人	50人	夏休みのみ実施
三吉第2児童クラブ	三吉小学校	34人	40人	夏休みのみ実施
緑丘第2児童クラブ	緑丘小学校	39人	40人	夏休みのみ実施

※児童数は、通年実施のクラブは、平成29年4月1日現在の入所児童数
夏休みのみ実施のクラブは、平成29年7月21日現在の入所児童数

≪実施時間≫

放課後から午後6時30分まで
長期学校休業期間、学校代休日及び祝日は、午前7時30分から午後6時30分まで

≪休所日≫

土曜日及び日曜日

5月3日から5月5日まで、8月13日から8月15日まで、12月29日から1月4日まで

≪利用料≫

区分(時間帯)	対象期間	利用料
通常利用 平常時／放課後～午後6時30分 学校休業日／午前7時30分～午後6時30分		月額5,100円 ただし8月期については月額8,000円
長期学校休業期間 (特定期間利用のみ) 午前7時30分～午後6時30分	夏休み期間	7月期4,100円、8月期8,000円
	冬休み期間	3,000円
	春休み期間	3月期3,000円、4月期2,400円
祝日利用 午前7時30分～午後6時30分		1日600円

≪民間児童クラブの状況≫

施　設	クックバラ	クックバラみよし	エジソンハウス
児童数	37人	13人	6人

※児童数は、平成29年4月1日現在の入所児童数

(2) 主な執行経費

区　分	内　　容	事業費
賃金	放課後児童クラブ指導員賃金	65,117,561円
委託料	天王児童クラブ建設工事監理委託	3,240,000円
	中部児童クラブ建設工事設計業務委託	5,616,000円
使用料	放課後児童クラブ機器使用料	1,203,120円
工事請負費	天王児童クラブ建設(建築)工事	64,260,000円
	天王児童クラブ建設(電気)工事	6,588,000円
	天王児童クラブ建設(機械)工事	14,732,280円
補助金	放課後児童健全育成事業運営費補助金	6,381,600円

2　事業の成果

児童クラブを開設することにより、児童に生活の拠点を与え、集団活動を通して自主性、社会性を高め、豊かな情操の育成と健康の増進を図るとともに、保護者が安心して子どもを預け働ける環境を提供することができました。

作成課【子育て健康部　子育て支援課】	事務事業番号	680306

款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	01 児童福祉総務費

事業名	ファミリーサポート事業
施策の体系	安心して子どもを産み、育てられるまち
	子育て支援サービスの充実

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額	
2,771 千円	3,077 千円	90.1 %	45 円	一般財源 18 円

財源	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	1,000千円	666千円	0千円	0千円	0千円	0千円	1,105千円

1 事業内容

(1)「仕事と育児のために」を目標に「子育てを助けてほしい」方(依頼会員)と、「子育てのお手伝いができる」方(援助会員)が会員として登録し、子育て総合支援センターにあるファミリー・サポート・センター事務局において、それぞれの会員を適切につなぐ連絡調整をしました。

≪会員数≫ (平成30年3月31日現在)

依頼会員	援助会員	両方会員
188人	37人	28人

≪援助内容≫

子どもの習い事等の場合の援助	766件
放課後児童クラブの迎え	96件
保育園・幼稚園の送迎	173件
保育園・幼稚園の帰宅後の預かり	114件
その他	529件
合　計	1,678件

(2) 主な執行経費

区　分	内　容	事業費
賃金	アドバイザー賃金	2,223,409円

2 事業の成果

保護者の就労等により、児童の育成監護ができない保護者の子育て支援ができました。

作成課【子育て健康部　子育て支援課】	事務事業番号	680308

款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	01 児童福祉総務費

事業名	遺児手当支給事務
施策の体系	安心して子どもを産み、育てられるまち
	子育て支援サービスの充実

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額	
18,772 千円	20,045 千円	93.6 %	307 円	一般財源 307 円

財源	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	18,772千円

1 事業内容

(1) ひとり親家庭などの生活の安定と自立の促進のため、みよし市遺児手当支給条例に基づき、遺児手当を支給しました。

（平成30年3月31日現在）

受給者	対象児童	受給者数	支給月額
市内居住で、右記の児童を養育する父、母又は養育者	市内居住で、18歳に達する年度の末までの児童で、父母が婚姻を解消した児童、父又は母が死亡した児童、父又は母がみよし市遺児手当支給規則で定める程度の障がいの状態にある児童など	429人	遺児1人につき2,500円 （支給対象児童数延べ7,503人）

(2) 主な執行経費

区分	内容	事業費
扶助費	遺児手当費	18,757,500円

2 事業の成果

ひとり親家庭などの児童を養育している人に対し、遺児手当を支給し、遺児が育成される家庭の生活の安定と自立の促進とともに、児童の健全育成と福祉の増進を図ることができました。

作成課【子育て健康部 子育て支援課】	事務事業番号	680309

款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	01 児童福祉総務費

事業名	児童扶養手当事務
施策の体系	安心して子どもを産み、育てられるまち
	子育て支援サービスの充実

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額	
149,707 千円	152,580 千円	98.1 %	2,451 円	一般財源 1,638 円

財源	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	49,678千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	100,029千円

1 事業内容

(1) ひとり親家庭などの生活の安定と自立を促進するため、児童扶養手当法等の法令に基づき、児童扶養手当を支給しました。

(平成30年3月31日現在)

受給者	対象児童	受給者数	支給月額
市内居住で、右記の児童を養育する父、母又は養育者	18歳に達する年度の末までの間にある児童(又は20歳未満で児童扶養手当法施行令で定める程度の障がいの状態にある児童)で、父母が婚姻を解消した児童、父又は母が死亡した児童、父又は母が施行令で定める程度の障がいの状態にある児童	394人	第1子 全部支給 42,290円 一部支給 42,280円～9,980円 第2子 全部支給 9,990円 一部支給 9,980円～5,000円 第3子以降 全部支給 5,990円 一部支給 5,980円～3,000円

(2) 主な執行経費

区分	内容	事業費
扶助費	児童扶養手当費	149,177,505円

2 事業の成果

ひとり親家庭などの児童を養育している人に対し、児童扶養手当を支給し、児童が育成される家庭の生活の安定と自立の促進に役立てるとともに、児童の健全育成と福祉の増進を図ることができました。

作成課【子育て健康部 子育て支援課】	事務事業番号	680310

款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	01 児童福祉総務費

事業名	児童発達支援事業
施策の体系	安心して子どもを産み、育てられるまち
	子育て支援サービスの充実

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額	
66,380 千円	75,690 千円	87.7 %	1,087 円	一般財源 1,086 円

財源	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	48千円	66,332千円

1 事業内容

(1) 児童発達支援事業所よつばでは、心身の発達に遅れや心配があり、発達上の支援を必要とする就学前の児童10人が通所し、日常生活における基本動作、知識及び技術を習得し、集団生活に適用できるよう支援を実施しました。

また、親子通園ルームふたばや親子短期グループひよこにおいては、保健センターが行う1歳児半健診・3歳児健診などで、ことばが遅い、多動、人との関わり方がわからないなど、発達に遅れがあると思われる子どもと保護者を対象に、日常生活や集団生活の指導、保育指導、社会適応訓練、また保護者に対しては子どもへの接し方などの助言を行いました。

≪実施状況≫

事業名	開催規模	対象年齢	年間参加児童数
児童発達支援事業所よつば	月～金	就学前3歳児～5歳児	10人
親子通園ルームふたば	2回／週　毎週	就園前2歳児	41人
	1回／週　毎週	1歳児	21人
親子短期グループひよこ	年3回／1クール10日	就園前2歳児	0人

(2) 主な執行経費

区分	内容	事業費
賃金	児童発達支援事業所よつば、親子通園ルームふたば臨時職員賃金	10,797,996円
報償費	音楽療法士、心理相談員等講師謝礼	785,000円
消耗品費	児童発達支援事業所よつば、親子通園ルームふたば消耗品	1,030,531円
委託料	児童発達支援事業所よつば増築工事監理委託	1,512,000円
工事請負費	児童発達支援事業所よつば増築工事	49,198,320円
備品購入費	更衣ロッカー(4)、靴箱(2)、掃除道具ロッカー(1)、かごつきロッカー(2)、ミニプレイバルーン(1)	792,838円

(　)内の数字は購入数

2 事業の成果

児童発達支援事業所よつばでは、対象となった児童一人一人へ、よりよい支援を行い、児童の成長や発達を促すことができました。また、子育ての中心的な存在である家族とともに、子育てのあり方を考え、児童の育ちを支援することができました。

また、親子通園ルームふたばでは、 保育園や幼稚園に入園した子どもがスムーズに適応して、生活できるようになったり、保護者が子どもの苦手なことを理解することで、子どもに対する声かけや関わり方が上手になりました。

作成課【子育て健康部　子育て支援課】	事務事業番号	680321

款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	01 児童福祉総務費

事業名	子ども会活動費補助事業
施策の体系	地域で青少年を支えるまち
	青少年の健全育成

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額	
5,062 千円	5,353 千円	94.6 %	83 円	一般財源 83 円

財源	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	5,062千円

1 事業内容

(1) 子どもの自主性と社会性の向上を図るとともに、家庭養育や地域活動を支援するため、行政区単位で組織する地区子ども会及び地区子育てクラブに対し、補助金を交付しました。

また、みよし市子ども会育成連絡協議会が主催する球技大会(種目:ドッジボール)、体育祭子ども会行事(種目:綱取り)、子ども会まつり等の事業に対し、補助金を交付するとともに、子ども会行事や運営をサポートするジュニアリーダークラブの活動を支援するため、補助金を交付しました。

≪補助金を交付した団体及び会員数≫ (平成29年4月1日現在)

団体名	団体数	会員数
子ども会	19団体	3,000人
子育てクラブ	17団体	2,338人

≪みよし市子ども会育成連絡協議会の主な事業実績≫

開催月	行事内容
6月	子ども会球技大会(種目:ドッジボール)
10月	体育祭子ども会行事(種目:綱取り)
11月	子ども会まつり

(2) 主な執行経費

区分	内容	事業費
補助金	地区子ども会等活動費補助金	1,090,200円
	地区子育てクラブ活動費補助金	2,186,000円
	ジュニアリーダークラブ活動事業補助金	100,000円
	子ども会育成連絡協議会補助金	1,585,715円

2 事業の成果

地区子ども会活動及び地区子育てクラブ活動の活性化が図られ、地域や家庭において児童の健全な育成と児童福祉の向上を図ることができました。

また、子ども会育成連絡協議会事業の活性化を図るとともに、市内の子どもたちの交流を進めることができました。

作成課【子育て健康部 子育て支援課】	事務事業番号	700101

款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	02 保育所費

事業名	保育園運営事業
施策の体系	安心して子どもを産み、育てられるまち
	保育サービスの充実

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額	
811,361 千円	905,924 千円	89.6 %	13,286 円	一般財源 7,632 円

財源	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	100,020千円	48,749千円	0千円	0千円	184,488千円	12,020千円	466,084千円

1 事業内容

(1) 保護者が就労等で児童の保育が困難な場合、保護者からの申込みにより保育園において保育を実施しました。

莇生保育園、天王保育園及び黒笹保育園については、民間に移管しており委託料及び補助金により管理運営を支援しました。

また、市内に3園ある認可外保育施設に通う児童の安全確保と福祉の増進のために、民間保育施設の運営に対し、補助金を交付しました。

待機児童の解消を図るため、小規模保育事業所の設置及び運営する法人を選定し、開設準備費に関わる経費に対し、補助金を交付しました。

≪保育園運営状況≫ (平成29年4月1日現在)

保育園	施設数	定員	児童数
公立保育園	7園	920人	730人
私立保育園	3園	520人	474人
合計	10園	1,440人	1,204人

≪保育園別児童数≫ (平成29年4月1日現在)

園名	莇生	天王	なかよし	みどり	打越	城山	明知	すみれ	わかば	黒笹
定員	180人	160人	120人	180人	150人	90人	120人	100人	160人	180人
児童数	147人	162人	113人	150人	141人	81人	38人	71人	136人	165人

≪認可外保育施設年間受入れ人数≫

名称	延べ人数
キッズハウスみよし	541人
ちびっこランド三好ヶ丘園	163人
ちびっこランド三好中央園	117人
合計	821人

(2) 主な執行経費

区　分	内　　容	事業費
報酬	保育園嘱託医報酬等	5,030,600円
賃金	保育園臨時職員賃金	201,012,551円
消耗品費	保育教材等	16,310,385円
光熱水費	電気料、ガス料、水道料	15,826,282円
賄材料費	給食等材料費	46,520,863円
委託料	茹生保育園管理運営業務委託	99,345,390円
	天王保育園管理運営業務委託	120,623,570円
	黒笹保育園管理運営業務委託	119,519,920円
	保育園施設管理業務委託	2,602,182円
	保育園エレベータ保守点検業務委託	1,018,656円
	保育園施設警備業務委託	1,043,280円
	保育園尿・腸内細菌等検査業務委託	2,419,950円
	保育園給食用弁当調理加工・配送委託	7,439,688円
賃借料	保育園駐車場借地料	5,263,658円
補助金	私立保育園運営費補助金(茹生保育園)	47,995,560円
	私立保育園運営費補助金(天王保育園)	39,217,970円
	私立保育園運営費補助金(黒笹保育園)	27,505,568円
	民間保育施設運営費補助金 [交付先]キッズハウスみよし、ちびっこランド三好ヶ丘園、 ちびっこランド三好中央園	6,396,000円
	小規模保育事業施設整備費補助金 [交付先]キッズハウスみよし	12,619,000円

2　事業の成果

公立保育園7施設と私立保育園3施設において、適切な運営及び保育環境の向上を図ることができました。

また、子育て支援策として民間保育施設へ補助を行うことにより、保育環境の向上が図られ、増加する低年齢児を保育施設に受け入れることができました。

平成30年4月に開所する小規模保育事業所の設置及び運営する法人を選定することにより、待機児童の解消を図り、安心して子育てできる環境を整備しました。

作成課【子育て健康部　子育て支援課】	事務事業番号	680102

款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	02 保育所費

事業名	保育園整備事業
施策の体系	安心して子どもを産み、育てられるまち
	保育サービスの充実

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額	
56,734 千円	66,382 千円	85.5 %	929 円	一般財源 878 円

財源	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	3,090千円	53,644千円

1 事業内容

(1) 明知保育園の保育室の網戸取付け、園児用トイレの改修工事等、施設の適正な維持管理に必要な修繕工事や明知保育園、みどり保育園の駐車場整備工事を実施しました。

また、わかば保育園の大規模改修工事を実施するため、設計業務を委託しました。

(2) 主な執行経費

区分	内容	事業費
委託料	わかば保育園大規模改修工事設計委託	9,697,320円
	園庭芝生化事業維持管理業務委託(10園)	1,072,241円
	園庭芝生化事業技術指導等業務委託(10園)	972,000円
工事請負費	明知保育園保育室・トイレ改修工事	14,310,000円
	みどり保育園駐車場整備工事	7,714,440円
	明知保育園駐車場整備工事	6,036,120円
	明知保育園駐車場フェンス設置工事	1,101,600円
備品購入費	複合遊具(3)、乗り物遊具(1)、乳母車(7)、身長計(1)	5,552,020円
	オルガン(1)、冷蔵庫(3)、配膳台(2)、テント(5)、掃除機(1)	
	アンプ(2)、チューナーユニット(2)、マイク(4)、アンテナ(2)	
	受信機(1)、整理棚(3)、折りたたみベッド(1)、プール(1)	
	ベビーベット(1)、更衣ロッカー(3)、布団収納棚(2)	
	空気清浄機(2)、衣帽掛け(1)、パーテーション(1)	
	電子ピアノ(1)、たんす(2)	

( )内の数字は購入数

2 事業の成果

公立保育園の施設の修繕工事及び駐車場整備工事等を実施し、園児が安全に通園できるよう保育環境の向上を図りました。

また、保育園において必要な備品を購入し、活用することができました。

作成課【子育て健康部 子育て支援課】	事務事業番号	680105

款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	02 保育所費

事 業 名	子育て支援センター運営事業
施策の体系	安心して子どもを産み、育てられるまち
	子育て支援サービスの充実

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額	
35,724 千円	41,298 千円	86.5 %	585 円	一般財源 346 円

財源	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	8,167千円	6,366千円	0千円	0千円	0千円	72千円	21,119千円

1 事業内容

(1) 市内5箇所の地域子育て支援センターを中心に、全保育園で子育て支援事業を実施しました。

≪親子ふれあいルームの開催≫

未就園児とその保護者を対象に、全保育園で、わくわくルーム(2歳児)、ぴよちゃんルーム(1歳児)、あかちゃんルーム(0歳児)を年間10回開催し、親子で一緒に遊びながら、ふれあいや友だちづくりとなるよう支援をしました。

親子ふれあいルーム	わくわくルーム(2歳児)	956組
	ぴよちゃんルーム(1歳児)	1,185組
	あかちゃんルーム(0歳児)	722組

≪保育園開放≫

全保育園で「園庭開放」を実施しました。

「かんがるーのへや」は一部の保育園で保育士を配置して絵本の読み聞かせなどを行いました。

保育園解放	園庭解放	1,991組
	かんがるーのへや	2,489組

≪育児講座≫

講師による各種講座を開催しました。

育児講座	親子ふれあい遊び、リトミック遊び、親子ヨガ、 ベビービクス、あかちゃんマッサージ、 わらべうた遊び、人形劇、パパと遊ぼう	394組

≪子育て相談≫

地域子育て支援センターに電話や面接による子育てに関する相談が、年間354件寄せられました。

≪子育て支援アプリ導入≫

子育て中の保護者が、簡単で手軽に子育て支援に関する情報を取得できる環境を整備するため、スマートフォンアプリを構築しました。

(2) 主な執行経費

区　分	内　　容	事業費
賃金	子育て支援センター・子育てふれあい広場臨時職員賃金	16,694,291円
委託料	子育て総合支援センター維持管理業務委託	1,620,000円
	子育て総合支援センター日常清掃業務委託	1,563,840円
	子育て支援アプリ導入業務委託	4,298,400円
償還金	平成28年度子ども・子育て支援交付金の交付額確定による返還金	3,119,000円

2 事業の成果

各地域子育て支援センターでの講座等の開催や地域の公園や児童館へ出かける出前ふれあい広場を実施し、将来を担う子どもたちを地域で育て支えあう仲間づくりを支援することができました。

また、子育て総合支援センターには、子育てに関する様々な相談に応じる総合相談窓口、乳児や幼児とその保護者が、遊具やおもちゃで自由に遊ぶことができる子育てふれあい広場、子育てに関する講座や子育てサークルの活動場所として利用できる交流室、ファミリー・サポート・センター、なかよし地区子育て支援センターを設置しており、みよし市の子育て支援の拠点施設として各種事業を実施することができました。

作成課【子育て健康部　子育て支援課】	事務事業番号	680313

款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	03 児童館運営費

事業名	児童館等活動運営事業
施策の体系	地域で青少年を支えるまち
	青少年の健全育成

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額	
65,406 千円	67,419 千円	97.0 %	1,071 円	一般財源 1,071 円

財源	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	65,406千円

1 事業内容

(1) 児童厚生員を各地域の児童館(13館)及び集会所(12館)に配置し、帰宅後や休日における地域での安全な遊び場を確保しました。

≪児童館等年間会館総日数及び利用延べ人数≫

児童館等年間開館日数	児童館	3,357日	6,189日
	集会所等	2,832日	
児童館等年間利用者数	児童館	82,322人	129,249人
	集会所等	46,927人	

(2) 主な執行経費

区分	内容	事業費
報酬	児童厚生員報酬	46,100,787円
賃金	児童厚生員補助員賃金	1,617,960円
消耗品費	児童館等行事運営消耗品、児童館美化事業(花苗)	3,456,152円
補助金	児童館緊急修繕事業補助金 [交付先行政区] 新屋 7,589,600円　三好上 1,784,400円 福田 596,700円　明知上 1,378,000円 打越 8,400円　茆生 47,300円 福谷 96,600円　東山 155,700円	11,656,700円

2 事業の成果

地区子ども会活動及び地区子育てクラブ活動の活性化が図られ、地域や家庭において児童の健全な育成と児童福祉の向上を図ることができました。

また、子ども会育成連絡協議会事業の活性化を図るとともに、市内の子どもたちの交流を進めることができました。

作成課【子育て健康部　子育て支援課】	事務事業番号	700104

款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	04 児童福祉施設費

事業名	児童遊園等維持管理事業
施策の体系	緑に包まれ、水に親しむ、快適で美しいまち
	公園・緑地の維持管理

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額	
10,552 千円	12,742 千円	82.8 %	173 円	一般財源 173 円

財源	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	10,552千円

1 事業内容

(1) 児童の健康増進や、情緒を豊かにすることを目的とし、児童に安全かつ健全な遊び場を提供するため、児童遊園10箇所・児童遊園地22箇所の施設管理を行いました。

(2) 主な執行経費

区分	内容	事業費
委託料	児童遊園・児童遊園地遊具点検業務委託	1,188,000円
	児童遊園等清掃除草・消毒業務委託	2,303,942円
補助金	児童遊園等緊急修繕補助金 [交付先]三好下行政区ほか7行政区	5,467,200円

2 事業の成果

行政区が管理する遊具が設置されている児童遊園10箇所、児童遊園地17箇所の遊具点検及び年2回の清掃・除草を実施しました。

また、行政区からの要望に基づく修繕補助金の交付を通じて、遊具等の修繕(黒笹児童遊園外9件)を実施した結果、施設の安全性を確保し、事故等はありませんでした。

作成課【都市建設部 公園緑地課】	事務事業番号	530401

款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	05 児童手当費

事業名	児童手当支給事務
施策の体系	安心して子どもを産み、育てられるまち
	子育て支援サービスの充実

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額	
1,193,044 千円	1,198,088 千円	99.6 %	19,536 円	一般財源 3,087 円

財源	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	830,139千円	174,393千円	0千円	0千円	0千円	0千円	188,512千円

1 事業内容

(1) 家庭等における生活の安定と、次代の社会を担う児童の健やかな成長を目的として、児童手当を支給しました。

受給資格	支給額 (児童1人あたり月額)	受給者数 (2月末現在)
0歳から中学校修了前まで(15歳に達する日以後の最初の3月31日まで)の児童を養育している人。 受給者の収入、扶養親族数に応じて所得制限あり。 前年分(1～5月分の手当については前々年分)所得が限度額を超える人には、特例給付を支給。	(1) 児童手当 0歳から3歳未満 15,000円 3歳から小学校修了前 10,000円 ただし第3子以降 15,000円 中学生 10,000円 (2) 特例給付 一律 5,000円	(1) 児童手当 受給者数 4,825人 対象児童数 8,039人 (2) 特例給付 受給者数 1,240人 対象児童数 1,922人

(2) 主な執行経費

区分	内容	事業費
扶助費	児童手当費	1,182,230,000円

2 事業の成果

中学校修了前までの児童を養育している保護者などの子育てについての経済的負担を軽減させるとともに、安心して子育てができることを社会全体で応援することができました。

作成課【子育て健康部 子育て支援課】	事務事業番号	680314

款	03 民生費	項	03 生活保護費	目	01 生活保護総務費

事業名	生活保護総務事業
施策の体系	生涯健康で安心して暮らし続けられるまち
	経済的困窮者への支援

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額	
31,176 千円	31,714 千円	98.3 %	510 円	一般財源 498 円

財源	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	724千円	9千円	0千円	0千円	0千円	0千円	30,443千円

1 事業内容

(1) 生活に困窮する者が、最低限度の生活を営めない場合に、その困窮の程度に応じた援助を行いました。

ア 生活保護の医療扶助分について、嘱託医による審査を行うとともに、診療報酬明細書の点検業務を行いました。

イ 生活保護に必要な調査(資産調査、扶養調査等)を行いました。

ウ 生活保護に関する研修や会議に担当職員が出席しました。

エ 平成28年度に交付された生活保護費国庫負担金等の超過交付分を返還しました。

区　分	成　果
生活保護受給世帯数(平成30年3月受給世帯数)	104世帯
生活保護受給者数(平成30年3月受給者数)	113人
生活困窮及び生活保護の相談件数(平成29年度年間延べ件数)	182件

(2) 主な執行経費

区　分	内　容	事業費
旅費	生活保護研修等旅費	106,900円
委託料	生活保護法による嘱託医審査業務委託	864,000円
	生活保護医療扶助適正化等事業委託	356,400円
償還金	平成28年度生活保護費国庫負担金超過交付分返還金	22,953,706円
	平成28年度生活保護費県費負担金超過交付分返還金	3,863,695円
	平成28年度生活困窮者就労準備支援事業費等補助金超過交付分返還金	32,000円

2 事業の成果

生活困窮者に対し、困窮の程度に応じ、最低限度の生活を営めるようにすることができました。また、生活に困窮した世帯の相談を聞き、支援することができました。

職員の生活保護に関する知識・技量を向上させることができました。

作成課【福祉部　福祉課】	事務事業番号	561202

款	03 民生費	項	03 生活保護費	目	02 扶助費

事 業 名	生活保護扶助事業
施策の体系	生涯健康で安心して暮らし続けられるまち
	経済的困窮者への支援

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額	
260,519 千円	283,352 千円	91.9 %	4,266 円	一般財源 406 円

財源	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	210,771千円	18,486千円	0千円	0千円	0千円	6,460千円	24,802千円

1 事業内容

(1) 生活に困窮する人が、最低限の生活を営めない場合に、その困窮の程度に応じて扶助費の支給を行いました。

≪生活保護≫

生活保護を決定した世帯に対し、国の基準に基づき、最低限度の生活に必要な扶助費を毎月又は随時支給しました。

(財源の内訳)

ア 国庫負担 3／4

イ 県費負担 1／4(生活保護法第73条該当分のみ)

ウ 市負担 1／4(生活保護法第73条該当分以外)

≪中国残留邦人支援≫

永住帰国した人に対し、生活支援給付等を行いました。また、中国残留邦人の配偶者に配偶者支援金を給付しました。

区 分	成 果
生活保護受給世帯数(平成30年3月受給世帯数)	104世帯
中国残留邦人支援世帯数(平成30年3月支援世帯数)	1世帯

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
扶助費	生活保護扶助費	254,725,927円
	中国残留邦人支援給付費	5,264,616円
	中国残留邦人配偶者支援金	519,528円

2 事業の成果

生活困窮者や中国残留邦人に対し、最低限度の生活を営めるように支援するとともに、稼働能力がある生活保護受給者等に対し、就労機会の確保に向けた支援を行うことができました。

作成課【福祉部 福祉課】	事務事業番号	561203

款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	01 保健衛生総務費

事 業 名	救急医療対策推進事業
施策の体系	生涯健康で安心して暮らし続けられるまち
	安心して医療が受けられる環境づくり

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額	
18,933 千円	20,298 千円	93.3 %	310 円	一般財源 310 円

財源	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	18,933千円

1 事業内容

(1) 市民の安全で安心できる医療体制づくりの一環として、休日・夜間等の救急医療体制を確保するため、西三河北部医療圏の構成市(豊田市、みよし市)で、救急医療対策事業に対する負担をしました。

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
負担金	病院群輪番制病院運営負担金	3,026,000円
	小児救急医療支援病院運営負担金	547,000円
	公的病院救命救急センター機能運営負担金	14,306,000円
	休日救急内科診療体制運営負担金	1,047,000円

2 事業の成果

市民の傷病、初期及び急性期病状の医療から重篤救急患者の救命医療までができる体制の確保を図ることができました。

作成課【子育て健康部 健康推進課】	事務事業番号	560302

款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	01 保健衛生総務費

事業名	市民病院負担金事業
施策の体系	生涯健康で安心して暮らし続けられるまち
	安心して医療が受けられる環境づくり

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額	
649,592 千円	678,505 千円	95.7 %	10,637 円	一般財源 10,637 円

財源	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	649,592千円

1 事業内容

(1) 市民病院事業の健全運営のため、地方公営企業法第17条の2に基づく、救急医療の確保、保健衛生業務、備品購入費等の事業費の負担をしました。

(2) 主な執行経費

区分	内容	事業費
負担金	救急事業運営費負担金	100,112,000円
	保健衛生行政負担金	3,035,000円
	企業債償還金負担金	209,334,000円
	器械備品購入費	24,780,000円
	高度医療負担金	50,795,000円
	研究研修費負担金	2,556,000円
	経営安定化負担金	119,895,000円
	児童手当負担金	3,768,000円
	基礎年金拠出金経費	29,057,000円
	建設改良費負担金	106,260,000円

2 事業の成果

地方公営企業法に定められている、救急事業運営費負担金をはじめとした各種負担金を繰出し、市民病院の経営の健全化を促進し、その経営基盤を強化することにより、地域に密着した中核病院として、市民に安定した医療を提供することができました。

今後も、継続的に安定して医療の提供ができるように取り組みます。

作成課【子育て健康部 健康推進課】	事務事業番号	560303

款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	01 保健衛生総務費

事 業 名	在宅医療連携システム整備事業
施策の体系	生涯健康で安心して暮らし続けられるまち
	安心して医療が受けられる環境づくり

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額	
2,897 千円	3,388 千円	85.5 %	47 円	一般財源 12 円

財源	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	2,172千円	0千円	0千円	0千円	0千円	725千円

1 事業内容

(1) 自宅で生活している、医療や介護の必要な在宅療養者等のプライバシーの保護を図りながら、往診医や訪問看護師、ケアマネージャー等の多職種が在宅療養等に必要な情報を、ICTを活用した連携システムで共有し、多くの情報を元に連携を図り、対象者に質の高い医療・介護・福祉サービスを提供することを目的として実施しています。

また、同じ医療圏である豊田市及びみよし市の市民に多職種が連携して支援することを目的として導入された、豊田市みよし市在宅医療・介護・福祉ネットワーク「豊田みよしケアネット」に関して適正な運用管理を行うため、豊田市みよし市在宅医療・介護・福祉総合ネットワーク協議会を設置しました。

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
負担金	在宅医療・介護連携推進事業負担金	2,592,000円

2 事業の成果

ICTを活用した連携システムを導入したことで、支援に携わる多職種間でタイムリーな情報共有を行うことができ、在宅療養者へのサービスの質の向上につながっています。

今後は、在宅療養に携わる専門職にICTの活用についての周知をより具体的に行っていくことで、登録数を増やし、支援の充実を目指していきます。

作成課【福祉部 長寿介護課】	事務事業番号	560304

款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	01 保健衛生総務費

事 業 名	古瀬間聖苑に係る豊田市への事務委託等事業
施策の体系	市民サービスを高める行政運営の推進
	行政サービスの連携

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額	
19,170 千円	19,896 千円	96.4 %	314 円	一般財源 314 円

財源	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	19,170千円

1 事業内容

(1) 地方自治法第252条の14に基づき、古瀬間聖苑に関する管理及び執行について、豊田市へ事務委託を行いました。

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
委託料	古瀬間聖苑運営管理委託	17,385,408円
負担金	古瀬間聖苑改修工事負担金	1,784,825円

※委託料は、前々年度の利用実績割

2 事業の成果

古瀬間聖苑が適正に管理され、利用者である市民サービスの向上が図られました。

施設が老朽化していることと、将来の死亡者数の推計から、施設の改修が必要となっており、平成29年度に設計を実施し、平成30年度から平成31年度にかけて、霊安室の移設、告別室、収骨室の増設、待合室を細分化する工事を実施する予定です。

作成課【環境経済部 環境課】	事務事業番号	721203

款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	02 予防費

事業名	健康診査事業
施策の体系	生涯健康で安心して暮らし続けられるまち
	成人保健対策の充実

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額	
93,436 千円	103,821 千円	90.0 %	1,530 円	一般財源 1,406 円

財源	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	2,075千円	4,783千円	0千円	0千円	0千円	720千円	85,858千円

1 事業内容

(1) 各種の健康診査・検診を実施することで、生活習慣病・がん等を早期発見し、早期治療、予防に結びつけ、市民の健康づくりの推進を図りました。

事業名		受診者数
健康診査	39歳以下の健診	445人
がん検診	胃がん検診	1,343人
	大腸がん検診	3,165人
	肺がん検診	2,727人
	子宮頸がん検診	802人
	乳がん検診	971人
	前立腺がん検診	1,386人
歯科健康診査	成人歯科健康診査	144人
	節目歯科健康診査	107人
	70歳歯科健康診査	91人
その他	肝炎ウイルス検診	512人
	骨密度検診	1,498人
	胸部X線検査	1,841人
	脳ドック	310人

(2) 主な執行経費

区分	内容	事業費
印刷製本費	保健事業日程表、各種検査票等の印刷	2,460,700円
委託料	39歳以下健診業務委託	1,722,674円
	胃がん検診業務委託	21,472,454円
	大腸がん検診業務委託	8,041,484円
	肺がん検診業務委託	14,728,173円
	子宮頸がん検診業務委託	3,820,081円
	乳がん検診業務委託	4,519,836円
	前立腺がん検診業務委託	3,501,572円
	成人歯科・節目歯科・70歳歯科健康診査業務委託	1,966,867円
	肝炎ウイルス検診業務委託	3,284,480円
	骨密度検診業務委託	1,504,494円
	胸部X線検査業務委託	4,552,766円
	脳ドック業務委託	4,800,474円

2 事業の成果

5月から12月までの期間で健(検)診を行い、市民の健康状態の把握と疾病の早期発見、早期治療と予防に結びつけることができました。

平成30年度からは、健(検)診の期間を5月から翌年1月までに延長して、より一層受診率向上に取り組みます。

作成課【子育て健康部 健康推進課】	事務事業番号	560103

款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	02 予防費

事 業 名	健康相談事業
施策の体系	生涯健康で安心して暮らし続けられるまち
	成人保健対策の充実

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額	
2,389 千円	2,565 千円	93.1 %	39 円	一般財源 26 円

財源	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	156千円	0千円	0千円	0千円	620千円	1,613千円

1 事業内容

(1) 心身の健康に関する相談に個別に応じ、必要な指導及び助言を行いました。生活習慣病予防相談に重点を置き、 健康度評価事業では、生活習慣の問診と健診結果、体力測定の結果に基づき、個人にあった生活習慣アドバイスを実施しました。

≪健康度評価事業≫

	参加者数		
開催回数	男性	女性	合計
45回	57人	109人	166人

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
印刷製本費	健康手帳等	204,660円
委託料	健康度評価事業支援業務委託	2,011,692円

2 事業の成果

60歳以上の希望者を対象に健康度評価を実施し、自らの健康に対する意識向上に結びつけることができました。

今後も安心・安全な健康づくりができる場として、健康度評価を市民に周知し、利用者の拡大に取り組みます。

作成課【子育て健康部 健康推進課】	事務事業番号	560106

款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	02 予防費

事業名	健康教育事業
施策の体系	生涯健康で安心して暮らし続けられるまち
	成人保健対策の充実

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額	
1,477 千円	2,210 千円	66.8 %	24 円	一般財源 14 円

財源	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	537千円	0千円	0千円	0千円	56千円	884千円

1 事業内容

(1) 生活習慣病予防等を中心に、自らの健康は自らが守るという認識・自覚を促しました。

また、市民に身近な存在であるヘルスパートナーのボランティア活動に対し、支援しました。

≪一般健康教育事業≫

	延べ参加者数			
開催回数	39歳以下	40～64歳	65歳以上	合計
67回	377人	500人	1,250人	2,127人

≪一般健康教育事業のうち主な事業≫

事業名	開催回数	延べ参加者数
健康力アップ教室	4回	26人
60歳からの栄養健康教室	3回	42人
子育てママのリフレッシュ教室	5回	58人
ウォーキングイベント	8回	246人

(2) 主な執行経費

区分	内容	事業費
報償費	健康運動指導士、管理栄養士、託児謝礼等	411,800円
消耗品費	参考資料、教室運営消耗品	593,875円
使用料	体育館使用料	90,060円
負担金	公益財団法人愛知県健康づくり振興事業団負担金等	171,870円

2 事業の成果

若い世代から中高年まで、幅広い対象者に対し健康教育事業を実施し、生活習慣病予防に結びつけることができました。

作成課【子育て健康部 健康推進課】	事務事業番号	560107

款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	02 予防費

事 業 名	予防接種事業
施策の体系	生涯健康で安心して暮らし続けられるまち
	母子保健対策の充実

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額	
210,558 千円	231,229 千円	91.1 %	3,448 円	一般財源 3,447 円

財源	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	69千円	0千円	0千円	0千円	0千円	210,489千円

1 事業内容

(1) 伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防するため、予防接種法に基づく定期予防接種及び任意予防接種の助成を行い、市民の健康保持を行いました。

項 目	接種者数
2種混合	524人
4種混合	2,500人
ポリオ	34人
麻しん風しん混合1期	614人
麻しん風しん混合2期	590人
BCG	590人
日本脳炎1期	1,730人
日本脳炎2期	708人
子宮頸がん予防ワクチン	3人
ヒブワクチン	2,476人
小児用肺炎球菌ワクチン	2,483人
水痘	1,219人

項 目	接種者数
B型肝炎	1,841人
高齢者インフルエンザ	5,854人
高齢者肺炎球菌ワクチン	1,043人
風しん抗体検査	59人
麻しん風しん混合(成人)	71人
風しん(成人)	76人
麻しん対策MR	7人
麻しんワクチン	0人
高齢者肺炎球菌ワクチン(任意)	36人
ロタ(任意)	1,175人
おたふく(任意)	666人

上記接種は、いずれも医療機関に委託し、個別に接種しました。
※3種混合／麻しん1期・2期／風しん1期・2期は、いずれも0件でした。

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
印刷製本費	各種予防接種券、予診票等の印刷	1,874,340円
委託料	定期予防接種業務委託・任意予防接種業務委託	203,450,699円
扶助費	里帰り等定期予防接種費用助成金	1,161,898円

2 事業の成果

各種の予防接種を推進することで疾病の発生及びまん延を予防することができました。

今後も、予防接種の重要性等を啓発する機会を広げ、接種率向上に取り組みます。

作成課【子育て健康部 健康推進課】	事務事業番号	560201

款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	03 母子衛生費

事業名	妊産婦・乳児健康診査事業
施策の体系	生涯健康で安心して暮らし続けられるまち
	母子保健対策の充実

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額	
74,833 千円	75,403 千円	99.2 %	1,225 円	一般財源 1,225 円

財源	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	74,833千円

1 事業内容

(1) 母子健康手帳交付時に妊産婦・乳児の健康保持及び異常の早期発見・早期治療のため、健康診査費用の公費負担として妊婦・産婦健康診査受診票(妊婦14回、産婦1回、子宮頸がん検診)、妊産婦歯科健康診査受診票(妊婦・産婦各1回)及び乳児健康診査受診票(2回)を交付し、健康診査の受診勧奨を行いました。

また、里帰り等により、受診票が使用できない妊産婦に対しては、健康診査費を助成しました。

内　　容	受診者数
母子健康手帳交付	594人
妊婦健康診査・子宮頸がん検診	延べ8,190人
産婦健康診査	558人
乳児健康診査	延べ969人
里帰り等妊産婦健康診査	63人
妊婦歯科健康診査	253人
産婦歯科健康診査	257人

(2) 主な執行経費

区　分	内　　容	事業費
印刷製本費	妊娠届出書、健康診査受診票綴り、歯科受診票等	656,720円
手数料	審査支払手数料	69,495,598円
委託料	妊産婦歯科健康診査業務委託	2,546,430円
扶助費	里帰り等妊産婦健康診査費助成金	1,963,650円

2 事業の成果

健康診査費用の公費負担により、妊産婦のいる家庭への経済的支援を行い、併せて妊産婦及び乳児の健康状態の確認と、疾病の早期発見・早期治療に結びつけることができました。

今後も、健康診査の重要性等を啓発する機会を広げ、受診率向上に取り組みます。

作成課【子育て健康部　健康推進課】	事務事業番号	560202

款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	03 母子衛生費

事 業 名	乳幼児健康診査事業
施策の体系	生涯健康で安心して暮らし続けられるまち
	母子保健対策の充実

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額	
12,953 千円	15,223 千円	85.1 %	212 円	一般財源 209 円

財源	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	175千円	12,778千円

1 事業内容

(1) 乳幼児の成長過程において、節目年齢での健康診査や未就学児に必要な健康診査等を保健センターにて集団で実施し、疾病の早期発見と早期治療(又は療育)に結びつけました。

また、育児不安や発達等の相談の場として、心理及びことばの相談を実施しました。

内 容	回 数	実施人数
3、4か月児健康診査	24回	623人
1歳6か月児健康診査	24回	599人
3歳児健康診査	24回	645人
乳幼児健康診査	12回	318人
歯科健康診査	12回	239人
心理相談	12回	26人
ことばの相談	12回	36人
フッ化物歯面塗布	36回	585人

※フッ化物歯面塗布は、1歳6か月児健康診査及び歯科健康診査の際に実施しました。

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
報償費	保健師、看護師、歯科衛生士、心理相談員等の謝礼	1,889,200円
印刷製本費	健診票、問診票等	479,811円
委託料	乳幼児健康診査業務委託	6,402,240円
	乳幼児歯科健康診査業務委託	4,033,020円

2 事業の成果

乳幼児の健康状態や発達状態を保護者に把握してもらい、今後の子育ての参考としてもらうことができました。

また、疾病や発達障がいの疑いがある子どもを早期に発見し、専門医療機関や療育機関につなげるとともに、保護者の育児や発達等に関する不安を軽減することができました。

今後も、健康診査の重要性等を啓発する機会を広げ、受診率向上に取り組みます。

作成課【子育て健康部 健康推進課】	事務事業番号	560203

款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	03 母子衛生費

事 業 名	発達支援教室事業
施策の体系	生涯健康で安心して暮らし続けられるまち
	母子保健対策の充実

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額	
1,688 千円	2,007 千円	84.1 %	28 円	一般財源 28 円

財源	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	1,688千円

1 事業内容

(1) 乳幼児健診や1歳6か月児健診、3歳児健診の要観察児を対象に、子どもの発達を促すための専門スタッフ(心理相談員、保育士、保健師等)が、子どもの発達・保護者の不安を確認し、必要な助言を行いました。

項目	対象児	開催回数	延べ参加組数
のびのび教室(ラッコ・パンダグループ)	1歳7か月から就園前	24回	354組
のびのび教室(カンガルーグループ)	2歳1か月から就園前	12回	180組
発達育児相談	概ね就学前まで	12回	34組

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
報償費	心理相談員、保育士、託児謝礼	1,643,000円
消耗品費	参考資料、教室運営消耗品	38,084円

2 事業の成果

育児不安、発達に関して支援が必要な親子に、専門スタッフが早期に相談や状況確認等をして、育児不安の軽減を図り、療育が必要な子どもに対しては早期に療育支援につなげることができました。

作成課【子育て健康部 健康推進課】	事務事業番号	560205

款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	03 母子衛生費

事 業 名	母子保健指導事業
施策の体系	生涯健康で安心して暮らし続けられるまち
	母子保健対策の充実

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額	
9,241 千円	12,167 千円	76.0 %	151 円	一般財源 120 円

財源	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	1,259千円	578千円	0千円	0千円	0千円	92千円	7,312千円

1 事業内容

(1) 誰もが安心して妊娠・出産・子育てができ、一人でも多くの女性が「安心して子どもを産み育てられる」と思えるよう、産前・産後事業の充実を図り、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援体制を構築することで、子育て家庭の支援を実施しました。

項目	回数	実施数
母子訪問指導	随時	253人
出前育児相談	12回	337人
出産母子支援	24回	83人
月曜健康育児相談	46回	2,115人
むし歯予防教室	12回	116人
わんぱく教室	6回	65人
すくすく教室	12回	169人
子どもの料理教室	3回	35人
子育て応援プラン	随時	604人
支援プラン(妊婦・産婦)	随時	321人
おめでとう電話	随時	567人
産後ホームヘルプ	随時	4人

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
賃金	助産師、保健師	4,120,418円
報償費	助産師、管理栄養士、歯科衛生士、看護師、保育士、託児謝礼	1,201,600円
消耗品費	ブックスタート事業配布絵本、教室運営消耗品	994,668円
委託料	産後ホームヘルプ(子どものいる暮らしスタート)業務委託	692,280円
	ポルトガル語通訳派遣業務委託	357,480円
	健康管理システム改修(妊産婦支援台帳)業務委託	1,134,000円
備品購入費	デジタル乳児体重計	48,600円

2 事業の成果

妊娠中から育児不安に対する相談や育児の交流の場として、安心して集える場所を提供するとともに、専門職種による各種教室を実施することにより、育児に対する不安を軽減することができました。

作成課【子育て健康部 健康推進課】	事務事業番号	560207

款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	03 母子衛生費

事 業 名	未熟児養育医療給付事業
施策の体系	生涯健康で安心して暮らし続けられるまち
	医療費助成の充実

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額	
4,796 千円	5,014 千円	95.7 %	79 円	一般財源 40 円

財源	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	980千円	490千円	0千円	0千円	869千円	0千円	2,457千円

1 事業内容

(1) 身体の発達が未熟のまま出生し、生活能力が特に薄弱で保育器を使用するなど入院養育が必要な乳児で、指定養育医療機関の医師が入院養育を必要と認めたものについて、その治療に必要な医療費の自己負担分を助成しました。

≪未熟児養育医療制度の状況≫

制度名	受給者数	入院日数	支給額	支給件数
未熟児養育医療	13人	569日	4,084,161円	32件

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
手数料	審査支払手数料	1,613円
扶助費	医療支給費	4,084,161円

2 事業の成果

入院養育が必要な乳児の福祉向上を図るため、医療費の自己負担分を公費負担することにより、医療費に関する不安を取り除き、安心して医療を受けてもらうとともに生活基盤の安定化に役立てることができました。

作成課【福祉部 保険年金課】	事務事業番号	560606

款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	03 母子衛生費

事 業 名	不妊治療費助成金事業
施策の体系	安心して子どもを産み、育てられるまち
	子育て支援サービスの充実

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額	
2,169 千円	2,530 千円	85.7 %	36 円	一般財源 27 円

財源	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	493千円	0千円	0千円	0千円	0千円	1,676千円

1 事業内容

(1) 少子化対策を図るため、一般不妊治療を受けている夫婦を対象に不妊治療にかかる費用の一部を助成しました。

項目	助成件数
不妊治療	54件

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
補助金	一般不妊治療費助成金	2,169,235円

2 事業の成果

一般不妊治療費の一部助成により、不妊に悩む夫婦が、安心して不妊治療を行えるよう経済的負担の軽減を図ることができました。

作成課【子育て健康部 健康推進課】	事務事業番号	680316

款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	04 保健センター費

事 業 名	住民健康管理システム運営事業
施策の体系	生涯健康で安心して暮らし続けられるまち
	予防医療の推進

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額	
5,456 千円	7,062 千円	77.3 %	89 円	一般財源 89 円

財源	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	5,456千円

1 事業内容

(1) 健康管理システムは、市民の生涯にわたる健康づくり管理を目的とし、行政が行う事業の予防接種、健康診査等のデータ管理をしているもので、このシステムの正常な運営を図るための保守等を行いました。

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
委託料	健康管理システム保守等業務委託	3,650,184円
使用料	健康管理システム機器等賃借料	1,805,895円

2 事業の成果

住民健康管理システムの正常な運営により、市民個人の保健資料管理ができた結果、必要に応じた予防接種、健康診査の個人通知発送が行え、また、健康状態の把握により健康相談対応が適切にできました。

作成課【子育て健康部 健康推進課】	事務事業番号	560402

款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	04 保健センター費

事 業 名	保健センター維持管理事業
施策の体系	その他(体系外)
	その他

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額	
10,534 千円	12,628 千円	83.4 %	172 円	一般財源 172 円

財源	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	6千円	10,528千円

1 事業内容

(1) 保健事業の拠点施設として、保健センターの施設の適正な維持管理、運営を行いました。

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
光熱水費	電気料、ガス料、水道料	2,283,210円
修繕費	給湯器取替、ガス漏れ火災警報設備取替、石積み修繕	159,440円
通信運搬費	固定電話料、衛星携帯電話料	1,052,526円
保険料	委嘱医師、看護師等の傷害保険料	177,570円
委託料	空調設備保守点検業務、樹木維持管理、清掃業務等委託	3,621,931円
使用料	複写機、放送受信料等	417,392円
備品購入費	災害用医療資機材(医科用1セット、歯科用2セット)	2,109,628円
負担金	あいち医療通訳システム推進協議会負担金	20,000円

2 事業の成果

保健センターの適正な維持管理を図るため、施設の維持管理や修繕等を行い、安全で清潔な保健センターの運営ができました。

作成課【子育て健康部 健康推進課】	事務事業番号	741304

款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	05 環境衛生費

事業名	エコエネルギー促進事業
施策の体系	環境と人にやさしいまち
	自然・新エネルギーの導入

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額	
42,092 千円	53,250 千円	79.0 %	689 円	一般財源 － 円

財源	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	2,952千円	0千円	0千円	0千円	39,140千円	0千円

1 事業内容

(1) 地球温暖化防止に貢献する住宅用設備の普及促進を図るため、住宅用太陽光発電システム、燃料電池システム、蓄電システム、HEMS(家庭用エネルギー管理システム)、電気自動車等充給電設備を、市内において自ら居住する住宅に補助対象設備を設置した者に補助金を交付しました。

また、超小型電気自動車、ハイブリッド(HV)自動車、電気自動車、プラグインハイブリッド(PHV)自動車、燃料電池自動車及び外部給電設備(コンセント)を設置した自動車を購入した場合に、温室効果ガスの削減に寄与するものとして補助金を交付しました。

(2) 主な執行経費

区分	内容		件数	事業費
補助金	住宅用太陽光発電システム	システム最大出力kw×4万円 (上限20万円)	114件	19,640,000円
	燃料電池システム	補助対象経費の10% (上限15万円)	30件	3,535,000円
	蓄電システム	補助対象経費の10% (上限10万円)	31件	3,035,000円
	HEMS	補助対象経費の10% (上限1万円)	15件	142,000円
	電気自動車等充給電設備	補助対象経費の10% (上限5万円)	0件	0円
	超小型電気自動車、HV自動車	補助対象経費の5% (上限5万円)	194件	9,700,000円
	電気自動車、PHV自動車	補助対象経費の5% (上限15万円)	39件	5,810,000円
	燃料電池自動車	補助対象経費の5% (上限35万円)	0件	0円
	外部給電設備(コンセント)	補助対象経費の全額 (上限1万円)	23件	230,000円
合計			446件	42,092,000円

2 事業の成果

住宅用の各エコシステムについて補助金を交付することにより、クリーンエネルギーの利用を促進し、地球温暖化の防止、省資源化、大気汚染防止及び自立型・分散型のエネルギー源を確保することができ、家庭での非常時における電力不足への対応及び電力量の抑制を図ることができました。

低公害車購入について補助金を交付することにより、排気ガスに含まれる温室効果ガスの発生を抑制し、地球温暖化の防止、省資源化及び大気汚染防止の効果が得られました。

≪近年の実績≫

住宅用システム	平成26年度	平成27年度	平成28年度
住宅用太陽光発電システム	234件	145件	138件
	39,186,000円	25,448,000円	24,173,000円
燃料電池システム	14件	19件	16件
	2,057,000円	2,725,000円	1,973,000円
蓄電システム	8件	10件	34件
	800,000円	1,000,000円	3,367,000円
HEMS	－	－	29件
	－	－	266,000円
電気自動車等充給電設備	－	－	0件
	－	－	0円
合　計	256件	174件	217件
	42,043,000円	29,173,000円	29,779,000円

低公害車	平成26年度	平成27年度	平成28年度
超小型電気自動車、HV自動車	395件	228件	201件
	31,524,000円	14,556,000円	10,039,000円
電気自動車、PHV自動車	5件	27件	4件
	400,000円	4,011,000円	600,000円
燃料電池自動車	－	－	0件
	－	－	0円
外部給電設備(コンセント)	－	－	8件
	－	－	80,000円
合　計	400件	255件	213件
	31,924,000円	18,617,000円	10,719,000円

作成課【環境経済部　環境課】	事務事業番号	540201

款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	05 環境衛生費

事 業 名	犬・猫死体処理事業
施策の体系	環境と人にやさしいまち
	ごみの適正処理と環境美化

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額	
1,725 千円	1,728 千円	99.8 %	28 円	一般財源 28 円

財源	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	1,725千円

1 事業内容

(1) 犬・猫等の死体を回収し、その後火葬埋葬を実施して、環境美化の推進及び生活環境の向上に努めました。

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
委託料	犬・猫等動物死体処理業務委託(334体)	1,724,760円

2 事業の成果

道路上等での事故等により死亡した犬・猫等動物の死体を動物愛護及び環境衛生面において適切に回収し、火葬埋葬をすることができました。

しかし、委託業者への連絡から死体回収までに半日かかる場合があります。

また、夜間業務と12月31日午後から1月３日まで業務は行っていないため、その間の回収については対応が遅くなる場合があります。

≪近年の実績≫

年度	数量	事業費
平成26年度	279体	1,386,072円
平成27年度	320体	1,683,720円
平成28年度	328体	1,724,760円

作成課【環境経済部 環境課】	事務事業番号	540501

款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	05 環境衛生費

事 業 名	環境美化推進事業
施策の体系	環境と人にやさしいまち
	ごみの適正処理と環境美化

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額	
4,041 千円	4,501 千円	89.8 %	66 円	一般財源 58 円

財源	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	512千円	0千円	0千円	0千円	0千円	3,529千円

1 事業内容

(1) 市内一斉環境美化の日の実践活動を始め、ポイ捨て等の防止に関する条例に則り、愛犬家のマナー向上の啓発など住民へのPR活動を行いました。

緑のカーテン設置事業を公共施設及び小中学校、保育園並びに幼稚園で実施しました。

また、一般家庭を対象にゴーヤ等の苗を配布し、緑のカーテンの普及啓発を行いました。

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
報酬	環境美化指導員報酬	1,008,000円
消耗品費	緑のカーテン設置事業	598,335円
	ごみゼロ用ごみ袋	859,680円
委託料	環境美化の日ごみ収集積置業務委託	950,400円

2 事業の成果

環境美化指導員に月2回自身の行政区内を巡回してもらい、環境美化が守られていない箇所があれば報告していただくよう依頼し、報告のあった箇所については市で対応しました。

市内一斉環境美化の日の実践活動を始めとする環境美化活動及びポイ捨て防止活動により、住民の意識の向上が図られました。

緑のカーテン設置事業の実施により、地球温暖化防止の啓発及び生徒、児童等への環境教育を実施することができました。

作成課【環境経済部 環境課】	事務事業番号	540502

款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	05 環境衛生費

事 業 名	不法投棄防止対策事業
施策の体系	環境と人にやさしいまち
	ごみの適正処理と環境美化

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額	
4,147 千円	5,052 千円	82.1 %	68 円	一般財源 68 円

財源	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	4,147千円

1 事業内容

(1) 不法投棄防止パトロールを実施し、不法投棄の防止に関する啓発及び廃棄物の適正処理等を行いました。

平成29年度は、不法投棄を79件処理しました。

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
委託料	不法投棄防止パトロール業務委託	3,888,000円

2 事業の成果

不法投棄多発地域を中心に不法投棄防止パトロールを実施し、不法投棄を未然に防止するとともに、不法投棄された廃棄物を適正に処理することで環境美化が図られました。

≪近年の実績≫

年度	件数
平成26年度	67件
平成27年度	89件
平成28年度	85件

作成課【環境経済部 環境課】	事務事業番号	540503

款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	05 環境衛生費

事業名	犬・猫避妊等手術費補助事業
施策の体系	その他(体系外)
	その他

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額	
1,514 千円	1,581 千円	95.8 %	25 円	一般財源 5 円

財源	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	0千円	0千円	1,186千円	0千円	0千円	328千円

1 事業内容

(1) 犬・猫避妊等手術費補助金交付要綱に基づき、犬及び猫の不必要な繁殖並びに周囲に対する危害及び迷惑の未然防止を図るとともに、動物を愛護する心及び生命尊重の心の育成に役立てることを目的に、犬・猫の避妊等手術を受けた市民及び承認団体に対し、手術に掛かる費用を補助しました。

≪補助対象≫

市内に住所を有し、自ら飼育する犬又は猫に、開業獣医師が行う手術を施した個人、又はみよし市地域ねこ活動団体の登録等に関する基準に基づき登録の承認を受けた団体。

≪平成29年度実績≫

金額		件数
個人	補助対象経費の2分の1 【限度額】 去勢:犬 3,000円、猫 2,000円 避妊:犬 5,000円、猫 4,000円	311件
団体	補助事業に要する経費	

(2) 主な執行経費

区分	内容	事業費
補助金	犬・猫避妊等手術費補助金	1,433,116円

2 事業の成果

犬・猫の避妊及び去勢にかかる高額な手術費を補助することで、不要な犬・猫の発生を抑制し、地域住民の生活環境の保全を図ることができました。

三好池周辺に生息する猫の全体数は減少していますが、まだ周辺より流入する猫がいること、新たに登録団体が増えたことにより、平成29年度は34頭の避妊去勢手術費を地域ねこ活動登録団体に補助しました。

作成課【環境経済部 環境課】	事務事業番号	741103

款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	06 公害対策費

事 業 名	大気環境調査事業
施策の体系	環境と人にやさしいまち
	環境の保全

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額	
4,109 千円	4,760 千円	86.3 %	67 円	一般財源 67 円

財源	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	4,109千円

1 事業内容

(1) より良い快適な環境の保全を実現するため、大気環境の各種調査及び自動車騒音常時監視に関する騒音調査等を行いました。

≪大気環境調査一覧≫

調査名		場　所	回数	検査項目等
大気測定	降下ばいじん	北部小学校、南部小学校、三吉小学校、リサイクルステーション三好、茹生浄化センター(5地点)	月1回	雨量、水素イオン、不溶解性物質、溶解性物質、硫酸イオン、塩素イオン
	自動車排気ガス	県道和合豊田線(三好町上ヶ池地内)	年1回	浮遊粒子状物質、一酸化炭素、二酸化硫黄、二酸化窒素、光化学オキシダント
	悪臭	なかよし地区4地点、みなよし地区1地点、(計5地点)	年1回	アンモニア、メチルメルカプタン、硫化水素等、法定22物質及び臭気指数
自動車騒音		国道153号始め2路線	年1回	騒音・交通量等

(2) 主な執行経費

区　分	内　容	事業費
委託料	降下ばいじん調査業務委託	693,360円
	大気測定調査業務委託	1,609,200円
	自動車騒音常時監視に係る騒音調査及び面的評価業務委託	1,533,600円

2 事業の成果

大気測定(降下ばいじん、排気ガス、臭気)調査及び自動車騒音調査等により、現状を把握することで大気汚染防止及び自動車騒音対策に役立てることができました。

作成課【環境経済部　環境課】	事務事業番号	540102

款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	06 公害対策費

事 業 名	環境管理事業
施策の体系	環境と人にやさしいまち
	環境の保全

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額	
3,643 千円	4,267 千円	85.4 %	60 円	一般財源 37 円

財源	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	1,396千円	2,247千円

1 事業内容

(1) 平成13年11月にISOの認証取得後に、定期監査を受けISOの維持を継続してきました。

平成17年4月にISOの基本理念を踏まえ、市独自の環境管理要綱を制定しました。

環境管理外部監査を実施し、本市の環境管理の結果等を外部有識者、住民代表等に監査していただき適切な環境管理の運用を図りました。

市役所駐車場に電気自動車用普通充電器及び案内看板を設置しました。

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
工事請負費	普通充電器の設置工事、案内看板設置工事	3,412,800円

2 事業の成果

環境管理要綱に基づき、個々の職員が環境に配慮した取組と継続改善に積極的に努めました。

西三河5市による西三河首長誓約のアクションプランに基づき、「西三河5市連携クールシェア事業」や「シンポジウム」等を開催しました。

また、市役所駐車場に電気自動車用普通充電器及び案内看板を設置し、次世代自動車の普及と地球温暖化の防止を促進することができました。

作成課【環境経済部 環境課】	事務事業番号	540104

款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	06 公害対策費

事 業 名	水環境調査事業
施策の体系	環境と人にやさしいまち
	環境の保全

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額	
2,368 千円	2,687 千円	88.1 %	39 円	一般財源 39 円

財源	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	2,368千円

1 事業内容

(1) 水環境の把握のため、各種の調査を行いました。

調査名		場　所	回数	検査項目等
水質等調査	河川水質	境川4地点、小石川、砂後川、逢妻女川、茶屋川(計8地点)	年6回	生活環境項目(pH、BOD、COD、SS、DOなど9項目)
		境川、砂後川、逢妻女川(計3地点)	年2回	健康項目(カドミウム、全シアン、鉛、ひ素、総水銀)
	河川底質	境川3地点、小石川、砂後川、逢妻女川、茶屋川(計7地点)	年1回	カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、ひ素、総水銀
	ため池水質	大坂池、四ツ池、新池、百々池、三好池、多羅釜池、保田ヶ池、二池、清水池、細口池、松葉池、大池(計12地点)	年2回	生活環境項目、健康項目(13項目)
	事業所排水	公害防止協定締結事業所等(5事業所)	年1回	生活環境項目、健康項目(11項目)
	生息魚類	境川3地点、小石川、砂後川、茶屋川、三好池、百々池、大池(計9地点)	年2回	生息魚類、水生生物
	大腸菌群数詳細	境川11地点、砂後川2地点、春木川1地点、前川1地点(計15地点)	年3回	大腸菌群数、糞便性大腸菌判定、油膜の有無、COD、透明度

(2) 主な執行経費

区　分	内　容	事業費
委託料	水質測定調査業務委託	2,354,400円

2 事業の成果

河川、ため池の水質、事業所排水等による水質汚濁状況を監視し、現状把握することで、水環境の保全を図ることができました。

作成課【環境経済部　環境課】	事務事業番号	540105

款	04 衛生費	項	02 清掃費	目	01 塵芥処理費

事 業 名	家庭ごみ計画収集事業
施策の体系	環境と人にやさしいまち
	ごみの適正処理と環境美化

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額	
524,023 千円	528,096 千円	99.2 %	8,581 円	一般財源 6,339 円

財源	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	0千円	0千円	75,039千円	0千円	61,875千円	387,109千円

1 事業内容

(1) 家庭から排出されるごみを計画的に収集するため、各地区で燃やすごみ週2回、燃えないごみ月2回から3回、資源ごみ(びん・かん)月2回、粗大ごみ週1回の収集を行いました。

また、収集業務を円滑に進めるため、ごみ収集カレンダーを各世帯に配布し、広報等によりごみ出しマナーのPRに努めるとともに、市の指定袋による収集を行いました。

≪計画収集に関する尾三衛生組合への搬入量≫

区分	尾三衛生組合全搬入量	みよし市搬入量	みよし市の搬入割合
燃やすごみ	31,871t	10,190t	32.09%
燃えないごみ	2,093t	824t	
粗大ごみ	379t	80t	
※金属類	192t	―	
※陶磁器・ガラス類	40t	―	
合 計	34,575t	11,094t	

※東郷町のみ

〈参考〉 日進市15,136t(43.8%) 東郷町8,345t(24.1%)

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
委託料	一般廃棄物収集及び清掃業務委託	478,872,560円
	ごみ処理手数料(指定ごみ袋・粗大ごみ処理券)徴収事務委託	7,988,630円
	資源ごみ分別収集用コンテナ配布回収業務委託	5,280,120円

2 事業の成果

計画収集したごみを尾三衛生組合「東郷美化センター」にて衛生的に処理することができました。

作成課【環境経済部 環境課】	事務事業番号	540505

款	04 衛生費	項	02 清掃費	目	01 塵芥処理費

事 業 名	不燃物埋立処分場管理事業
施策の体系	環境と人にやさしいまち
	ごみの適正処理と環境美化

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額	
3,428 千円	3,497 千円	98.0 %	56 円	一般財源 56 円

財源	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	0千円	0千円	17千円	0千円	0千円	3,411千円

1 事業内容

(1) 不燃物埋立処分場の水質検査や土地所有者の賃料の支払い等を実施し、適切な管理を行いました。

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
委託料	不燃物埋立処分場水質検査業務委託	558,360円
賃借料	不燃物埋立処分場用地賃借料	2,741,776円

2 事業の成果

尾三衛生組合東郷美化センターに搬入できない一般家庭からのコンクリートがらを受け入れることで、市民の利便性を図り適切に処理しました。

作成課【環境経済部 環境課】	事務事業番号	540506

款	04 衛生費	項	02 清掃費	目	01 塵芥処理費

事 業 名	リサイクル推進事業
施策の体系	環境と人にやさしいまち
	「3R」の推進

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額	
25,338 千円	27,959 千円	90.6 %	415 円	一般財源 21 円

財源	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	24,073千円	1,265千円

1 事業内容

(1) リサイクル事業を推進するため、「リサイクルステーションみよし」を2箇所で開設し、新聞紙、雑誌・雑紙、紙パック、食品トレイ、びん、かん、DVD・CD、DVD・CDケース、自動車・オートバイ用バッテリー等を回収しました。(小型家電は、三好リサイクルステーションのみで回収)

また、ペットボトルは、大型店舗と地区公民館、集会所、保育園等に回収ボックスを設置し、回収しました。

≪リサイクルステーションみよし資源回収量≫ (2箇所分)

回収品目	回収量	回収品目	回収量
新聞紙	478,360kg	食品トレイ	6,064kg
雑誌・雑紙	514,090kg	使用済み蛍光管	2,592kg
紙パック	18,490kg	使い捨て乾電池	9,571kg
段ボール	257,540kg	使い捨てライター	409kg
古着	79,040kg	廃食用油	9,213kg
ペットボトル	73,116kg	陶器	13,025kg
プラスチック製容器包装	97,813kg	CD・DVD	654kg
スプレー缶	4,781kg	CD・DVDケース	887kg
割り箸	195kg	自動車・オートバイ用バッテリー	5,930kg
びん	229,674kg		
アルミ缶	37,300kg	使用済み小型家電	61,188kg
スチール缶	21,930kg	合 計	1,924,212kg

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
委託料	資源ごみ回収業務委託	11,833,560円
	リサイクルステーションみよし分別清掃業務委託	10,510,560円
	プラスチック製容器包装中間処理業務委託	1,073,054円

2 事業の成果

リサイクル事業の推進により、再資源化を図ることができました。

作成課【環境経済部 環境課】	事務事業番号	540602

款	04 衛生費	項	02 清掃費	目	01 塵芥処理費

事 業 名	資源ごみ回収補助事業
施策の体系	環境と人にやさしいまち
	「3R」の推進

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額	
1,487 千円	2,200 千円	67.6 %	24 円	一般財源 24 円

財源	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	1,487千円

1 事業内容

(1) 資源ごみの有効利用に対する認識を高めるため、資源回収を行う団体に補助を行いました。

≪交付先≫

・PTA

中部小学校、北部小学校、南部小学校、天王小学校、三吉小学校、三好丘小学校、緑丘小学校、黒笹小学校、三好中学校、北中学校、南中学校、三好丘中学校

・子ども会

明知下子ども会

≪資源回収団体回収量≫

新聞	古布	雑誌	段ボール	紙パック	合計
160,865kg	6,280kg	65,230kg	60,450kg	4,667kg	297,492kg

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
補助金	資源ごみ回収推進に関する補助金	1,487,460円

2 事業の成果

13団体に対して補助金を交付し、支援することでごみの減量化及び資源ごみの有効利用を推進するとともに、市民のごみの減量化及び資源ごみの有効利用に対する意識の向上を図ることができました。

作成課【環境経済部 環境課】	事務事業番号	540603

款	04 衛生費	項	02 清掃費	目	01 塵芥処理費

事 業 名	塵芥処理に係る豊田市への事務委託等事業
施策の体系	市民サービスを高める行政運営の推進
	行政サービスの連携

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額	
72,328 千円	72,702 千円	99.5 %	1,184 円	一般財源 1,184 円

財源	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	72,328千円

1 事業内容

(1) 尾三衛生組合「東郷美化センター」で処分できないレンガ、陶器等の不燃物を「グリーン・クリーンふじの丘」で処理しました。

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
委託料	勘八不燃物処分場運営管理委託	467,170円
	グリーン・クリーンふじの丘運営管理委託	3,468,684円
負担金	グリーン・クリーンふじの丘起債償還費負担金	68,147,449円
	藤岡ふれあいの館維持管理費負担金	244,723円

※ 管理費は、前々年度の搬入量により算定

※ 建設起債償還費は、均等割20%、人口割40%、実績割(40%:前々年度の搬入量)により算定

2 事業の成果

一般家庭からごみとして排出され、埋め立てるしかない不燃物について、適性かつ衛生的に「グリーン・クリーンふじの丘」へ搬入し、処理しました。搬入量は、47.0tでした。

≪近年の搬入実績≫

年度	みよし市搬入量	豊田市搬入量	搬入合計量	みよし市の搬入割合
平成26年度	101.8t	6,300.9t	6,402.7t	1.59%
平成27年度	71.1t	5,841.7t	5,912.8t	1.20%
平成28年度	105.9t	7,001.1t	7,107.7t	1.49%

作成課【環境経済部 環境課】	事務事業番号	721204

款	04 衛生費	項	02 清掃費	目	01 塵芥処理費

事 業 名	尾三衛生組合負担事業
施策の体系	市民サービスを高める行政運営の推進
	行政サービスの連携

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額	
299,962 千円	299,962 千円	100.0 %	4,912 円	一般財源 4,912 円

財源	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	299,962千円

1 事業内容

(1) 運営費負担金

可燃ごみ処理施設、資源ごみ処理施設、不燃ごみ処理施設及び埋立処分場管理費等の運営に関する費用を日進市、東郷町と共同で負担しました。

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
負担金	尾三衛生組合運営費負担金	299,962,000円

※ 負担額は、人口割50%、処理量割50%
(前々年度の10月1日より前年の9月30日までのごみ処理量の割合)で算出

2 事業の成果

家庭から排出されるごみを、尾三衛生組合「東郷美化センター」にて衛生的に処理しました。

可燃ごみ処理施設は、当初の耐用期限は平成31年度までででしたが、平成41年度まで使用できるように平成27年度から延命化工事を実施しています。

≪近年の運営費負担金≫

年度	負担金額	処理量
平成26年度	327,099,000円	17,158t
平成27年度	337,241,000円	17,399t
平成28年度	335,682,000円	17,234t

作成課【環境経済部 環境課】	事務事業番号	721281

款	04 衛生費	項	02 清掃費	目	02 し尿処理費

事 業 名	し尿汲取り清掃事業
施策の体系	環境と人にやさしいまち
	下水道などへの接続による水洗化の促進

決 算 額	予 算 現 額	執行率	市民一人当たりの決算額	
4,548 千円	5,053 千円	90.0 %	74 円	一般財源 17 円

財源	国庫支出金	県支出金	市 債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	0千円	0千円	3,534千円	0千円	0千円	1,014千円

1 事業内容

(1) 各地区月1回の計画収集を行いました。

≪砂川衛生プラント搬入量≫

区分	砂川衛生プラント全搬入量	みよし市搬入量	みよし市の割合
し尿	5,014t	438t	8.74%

〈参考〉豊田市91.26%

(2) 主な執行経費

区 分	内 容	事業費
委託料	し尿汲取り収集及び清掃業務委託	4,355,289円

2 事業の成果

し尿を衛生プラントにおいて衛生的に処理しました。

≪近年の搬入実績≫

年度	搬入量	割合
平成26年度	504t	8.20%
平成27年度	463t	8.54%
平成28年度	383t	6.75%

作成課【環境経済部 環境課】	事務事業番号	540801

款	04 衛生費	項	02 清掃費	目	02 し尿処理費

事業名	し尿処理に係る豊田市への事務委託等事業
施策の体系	市民サービスを高める行政運営の推進
	行政サービスの連携

決算額	予算現額	執行率	市民一人当たりの決算額	
24,663 千円	24,944 千円	98.9 %	404 円	一般財源 404 円

財源	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
内訳	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	24,663千円

1 事業内容

(1) 豊田市へ砂川衛生プラントの運営管理委託費を支払いました。

≪砂川衛生プラント搬入量≫

区分	砂川衛生プラント全搬入量	みよし市搬入量	みよし市の割合
し尿	5,014t	438t	8.74%
浄化槽汚泥	54,752t	4,360t	7.96%

(2) 主な執行経費

区分	内容	事業費
委託料	砂川衛生プラント運営管理委託	24,663,198円

※委託費は前々年度の搬入実績割

2 事業の成果

豊田市への委託により、し尿処理等を適切に行うことができました。

≪近年の搬入実績≫

年度	し尿		浄化槽	
	搬入量	割合	搬入量	割合
平成26年度	504t	8.20%	4,961t	8.40%
平成27年度	463t	8.54%	4,956t	9.08%
平成28年度	438t	9.13%	4,360t	7.96%

作成課 【環境経済部 環境課】	事務事業番号	721205